

# 佐賀県の感染症

平成 31 年(2019 年)

佐賀県衛生薬業センター  
(佐賀県感染症情報センター)



# 目次

## I 感染症発生動向調査事業の概要

1 感染症発生動向調査事業	1
2 対象感染症	1
(1) 全数把握の対象(一～五類感染症)	1
(2) 定点把握の対象(五類感染症)	2
(3) オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象	2
3 定点医療機関数	2
4 感染症情報の提供	3

## II 感染症発生動向調査結果

1 全数把握の対象	4
(1) 一類感染症	4
(2) 二類感染症	4
(3) 三類感染症	5
(4) 四類感染症	5
(5) 五類感染症	7
五類感染症疾病別診断月別表	8
一～五類感染症週別患者報告数(表)	16
2 定点把握の対象(五類感染症)	19
平成31年五類感染症 定点把握疾病の報告数(表)	20
(1) インフルエンザ	
(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	21
(2) RSウイルス感染症	22
(3) 咽頭結膜熱	23
(4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24
(5) 感染性胃腸炎	25
(6) 水痘	26
(7) 手足口病	27
(8) 伝染性紅斑	28
(9) 突発性発しん	29
(10) ヘルパンギーナ	30
(11) 流行性耳下腺炎	31

平成31年感染症週報	週別患者報告数(表)	32
平成31年感染症週報	年齢階級別報告数(表)	34
平成31年感染症月報	月別報告数(表)	35
平成31年感染症月報	性感染症定点の性別・年齢階級別報告数(表)	35
平成31年感染症月報	基幹定点の性別・年齢階級別報告数(表)	36

### III 検査情報

- 1 衛生薬業センターにおける検出状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
  - (1) ウイルス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
  - (2) 細菌（菌株収集）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- 2 水道水源河川水の原虫検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

### IV 医療機関病原体検出情報

- 医療機関病原体検出情報（年報及び月報）・・・・・・・・・・・・・・ 41

### V 資料

- 佐賀県感染症発生動向調査病原体検査指針・・・・・・・・・・・・・・ 49
- 医療機関検出情報及び菌株収集実施要領・・・・・・・・・・・・・・ 59

## I 感染症発生動向調査事業の概要

# 1 感染症発生動向調査事業

感染症発生動向調査事業は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成11年4月1日施行、以下「感染症法」という。)第12条～第16条に基づく、「感染症発生動向調査事業実施要綱」により実施している。

この調査には全数把握と定点把握の感染症があり、全数把握の感染症は、患者を診断した医師が最寄りの保健所に届出を行う。定点把握の感染症は、県内の感染症指定届出機関(定点医療機関)から管轄保健所に報告される。県では、患者情報及び病原体情報を収集・分析するとともに、その結果を公開している。

感染症類型ごとの届出時期及び対象医療機関

類 型	届出時期	対象医療機関
一～四類感染症	直ちに	全医療機関
五類感染症(全数)	7日以内*	〃
新型インフルエンザ等感染症	直ちに	〃
五類感染症(定点)小児科定点	週単位	定点医療機関
〃 内科定点	〃	〃
〃 眼科定点	〃	〃
〃 性感染症定点	月単位	〃
〃 基幹定点	週及び月単位	〃

\*ただし、侵襲性髄膜炎菌感染症、麻しん、風しんは直ちに報告

## 2 対象感染症

### (1)全数把握の対象

#### 一類感染症

(1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱

#### 二類感染症

(8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、(12)中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属ME RSコロナウイルスであるものに限る。)、(13)鳥インフルエンザ(H5N1)、(14)鳥インフルエンザ(H7N9)

#### 三類感染症

(15)コレラ、(16)細菌性赤痢、(17)腸管出血性大腸菌感染症、(18)腸チフス、(19)パラチフス

#### 四類感染症

(20)E型肝炎、(21)ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、(22)A型肝炎、(23)エキノコックス症、(24)黄熱、(25)オウム病、(26)オムスク出血熱、(27)回帰熱、(28)キャサヌル森林病、(29)Q熱、(30)狂犬病、(31)コクシジオイデス症、(32)サル痘、(33)ジカウイルス感染症、(34)重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)、(35)腎症候性出血熱、(36)西部ウマ脳炎、(37)ダニ媒介脳炎、(38)炭疽、(39)チクングニア熱、(40)つつが虫病、(41)デング熱、(42)東部ウマ脳炎、(43)鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)、(44)ニパウイルス感染症、(45)日本紅斑熱、(46)日本脳炎、(47)ハンタウイルス肺症候群、(48)Bウイルス病、(49)鼻疽、(50)ブルセラ症、(51)ベネズエラウマ脳炎、(52)ヘンドラウイルス感染症、(53)発しんチフス、(54)ボツリヌス症、(55)マラリア、(56)野兎病、(57)ライム病、(58)リッサウイルス感染症、(59)リフトバレー熱、(60)類鼻疽、(61)レジオネラ症、(62)レプトスピラ症(63)ロッキー山紅斑熱

## 五類感染症(全数)

(64)アメーバ赤痢、(65)ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)、(66)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、(67)急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)、(68)急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)、(69)クリプトスポリジウム症、(70)クロイツフェルト・ヤコブ病、(71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(72)後天性免疫不全症候群、(73)ジアルジア症、(74)侵襲性インフルエンザ菌感染症、(75)侵襲性髄膜炎菌感染症、(76)侵襲性肺炎球菌感染症、(77)水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)、(78)先天性風しん症候群、(79)梅毒、(80)播種性クリプトコックス症、(81)破傷風、(82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(84)百日咳、(85)風しん、(86)麻しん、(87)薬剤耐性アシネトバクター感染症

## 新型インフルエンザ等感染症

(112)新型インフルエンザ、(113)再興型インフルエンザ

## 指定感染症

該当なし

## (2) 定点把握の対象

### 五類感染症(定点)

(88)RSウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、(90)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(91)感染性胃腸炎、(92)水痘、(93)手足口病、(94)伝染性紅斑、(95)突発性発しん、(96)ヘルパンギーナ、(97)流行性耳下腺炎、(98)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)、(99)急性出血性結膜炎、(100)流行性角結膜炎、(101)性器クラミジア感染症、(102)性器ヘルペスウイルス感染症、(103)尖圭コンジローマ、(104)淋菌感染症、(105)クラミジア肺炎(オウム病を除く。)、(106)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)、(107)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(108)マイコプラズマ肺炎、(109)無菌性髄膜炎、(110)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(111)薬剤耐性緑膿菌感染症  
**法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症**

(114)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

## (3) オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象

### 二類感染症

(13) 鳥インフルエンザ(H5N1)

## 3 定点医療機関数

患者定点の医療機関数は、小児科定点23、内科定点16、眼科定点4、性感染症定点7、基幹定点6が選定され、小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点としての機能も兼ねている。また、このうち13医療機関が病原体定点としての機能を果たしている。

県内の保健所別患者定点

保健所名	小児科 定点 (ア)	内科 定点 (イ)	インフル エンザ 定点 (ア+イ)	眼科 定点	性感染症 定点	基幹 定点	医療 機関数
佐賀中部	8	5	13	2	3	2	20
鳥 栖	3	2	5		1	1	7
唐 津	4	3	7	1	1	1	10
伊万里	3	2	5		1	1	7
杵 藤	5	4	9	1	1	1	12
合 計	23	16	39	4	7	6	56

県内の保健所別病原体定点

保健所名	小児科 病原体定点	インフルエンザ 病原体定点	基幹 病原体定点	医療機関数
佐賀中部		1	2	3
鳥 栖	1	1	1	3
唐 津	1	1	1	3
伊万里		1	1	2
杵 藤		1	1	2
合 計	2	5	6	13

## 4 感染症情報の提供

感染症の予防及びまん延防止を図ることを目的に、感染症に関する情報を公表する佐賀県感染症情報センターホームページを運営している。また、「佐賀県感染症発生動向調査週報」を毎週作成し、医師会はじめ県内医療機関や市町等の関係機関にメール送信すると共に、佐賀県感染症情報センターホームページに掲載している。

## Ⅱ 感染症発生動向調査結果



# 1 全数把握の対象

全数把握対象疾患の年別届出状況

単位：人

	疾患名	H27	H28	H29	H30	H31(2019)
二類	結核	172	153	130	111	137
三類	細菌性赤痢	0	0	2	1	0
	腸管出血性大腸菌感染症	49	85	45	16	110
	腸チフス	0	2	0	0	0
四類	E型肝炎	1	0	0	1	2
	A型肝炎	2	1	0	1	4
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	2	1	0
	つつが虫病	6	9	12	3	4
	デング熱	0	0	0	1	1
	日本紅斑熱	3	8	3	10	8
	マラリア	1	1	0	1	0
	レジオネラ症	2	3	3	10	9
五類	アメーバ赤痢	4	7	5	4	3
	ウイルス性肝炎	2	1	4	1	3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	15	7	15	7
	急性脳炎	3	4	2	0	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	1	3	4	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	5	11	2	4
	後天性免疫不全症候群	4	9	3	8	7
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	1	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	16	14	15	20	24
	水痘(入院例に限る)	0	5	5	5	3
	梅毒	6	15	17	17	26
	播種性クリプトコックス症	0	0	2	2	0
	破傷風	2	0	3	3	0
	百日咳				140	98
	風しん	0	0	0	17	33
	麻疹	0	0	0	0	13

## (1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

## (2) 二類感染症

**結核**:137名の届出があり、平成27年から減少傾向であったが、今年は増加した。症状別では患者(疑似症患者を含む)104名、無症状病原体保有者33名で、性別では男性71名、女性66名と男性の届出が多かった。年齢階級別では、80歳代(43名)が最も多く、次に60歳代(19名)、90歳代(18名)と多かった。

単位：人

届出のあった結核の年齢階級別類型

診断	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
患者	1	0	7	2	3	6	16	12	40	17	104
無症状*	4	1	3	2	8	6	3	2	3	1	33
計	5	1	10	4	11	12	19	14	43	18	137

\*無症状病原体保有者

結核以外の二類感染症の届出はなかった。

(3) 三類感染症

**腸管出血性大腸菌感染症：**110名の届出があり、前年(16名)より大幅に増加した。症状別では患者51名、無症状病原体保有者59名で、性別では男性62名、女性48名であった。年齢階級別では10歳未満67名、10歳代6名、20歳代11名、30歳代8名、40歳代7名、50歳代3名、60歳代4名、80歳代4名であった。血清型・毒素型ではO157VT1、VT2、VT1+VT2が51件で最も多く、O26VT1が46名であり、集団発生は、3事例74名であった。

腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 単位：人

血清型	毒素型	届出数	血清型	毒素型	届出数
O26	VT1	46	O112ab	VT2	1
O91	VT1	1	O157	VT1	1
	VT2	2		VT2	18
O103	VT1+VT2	1		VT1+VT2	32
O111	VT1	2	O165	VT2	1
	VT1+VT2	4		VT1+VT2	1
計					110

腸管出血性大腸菌感染症以外の三類感染症の届出はなかった。

(4) 四類感染症

**E型肝炎：**2名の届出があり、前年と比べ増加した。性別は男性2名で、診断月は2月と7月、感染地域は国内であった。

**A型肝炎：**4名の届出があり、前年と比べ増加した。性別は男性2名、女性2名で、診断月は4月から11月、感染地域は国内2名、国外2名(アフガニスタン)であった。

**つつが虫病：**4名の届出があり、前年と比べ増加した。性別は男性2名、女性2名で、診断月は12月、感染地域はいずれも国内であった。

**デング熱：**1名の届出があった。性別は男性で、診断月は11月、感染地域は国外(インドネシア)であった。

**日本紅斑熱：**8名の届出があり、前年と比べやや減少した。性別は男性6名、女性2名で、診断月は3月から11月、感染地域は国内7名、不明1名であった。

**レジオネラ症：**9名の届出があり、前年と比べ1名減少した。性別は男性8名、女性1名で、診断月は2月から12月、感染地域は国内8名、不明1名であり、病型はいずれも肺炎型であった。

その他の四類感染症の届出はなかった。

## 届出のあった四類感染症

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	管轄保健所	感染地域
E型肝炎	2名	2月	60歳代男性患者	唐津	国内(推定)
		7月	60歳代男性患者	佐賀中部	国内(推定)
A型肝炎	4名	4月	70歳代女性患者	唐津	国内(推定)
		10月	幼児女児患者	佐賀中部	国外推定(アフガニスタン)
		11月	幼児男児無症状	佐賀中部	国外推定(アフガニスタン)
		11月	20歳代男性患者	佐賀中部	国内(推定)
つつが虫病	4名	12月	70歳代男性患者	鳥栖	国内(推定)
		12月	80歳代男性患者	唐津	国内(推定)
		12月	70歳代女性患者	佐賀中部	国内(推定)
		12月	70歳代女性患者	佐賀中部	国内(推定)
デング熱	1名	11月	20歳代男性患者	佐賀中部	国外確定(インドネシア)
日本紅斑熱	8名	3月	70歳代男性患者	佐賀中部	国内(推定)
		4月	50歳代女性患者	杵藤	国内(推定)
		6月	70歳代男性患者	佐賀中部	不明
		9月	70歳代男性患者	佐賀中部	国内(推定)
		10月	60歳代女性患者	佐賀中部	国内(確定)
		10月	70歳代男性患者	佐賀中部	国内(推定)
		10月	70歳代男性患者	佐賀中部	国内(確定)
		11月	80歳代男性患者	佐賀中部	国内(推定)
レジオネラ症	9名	2月	70歳代男性患者(肺炎型)	佐賀中部	不明
		5月	70歳代男性患者(肺炎型)	杵藤	国内(確定)
		6月	60歳代男性患者(肺炎型)	杵藤	国内(推定)
		7月	50歳代男性患者(肺炎型)	杵藤	国内(推定)
		8月	80歳代女性患者(肺炎型)	佐賀中部	国内(推定)
		9月	50歳代男性患者(肺炎型)	佐賀中部	国内(推定)
		9月	80歳代男性患者(肺炎型)	佐賀中部	国内(確定)
		10月	60歳代男性患者(肺炎型)	唐津	国内(推定)
		12月	90歳代男性患者(肺炎型)	唐津	国内(推定)

## (5) 五類感染症

**アメーバ赤痢:**3名の届出があった。性別は男性2名、女性1名で、病型は3名とも腸管アメーバ症であり、感染原因・感染経路は経口感染1名、不明2名であった。

**ウイルス性肝炎:**3名の届出があった。性別は男性3名で、病型はB型1名、その他2名であった。感染原因・感染経路は性的接触1名、不明2名であった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:**7名の届出があった。性別は男性4名、女性3名で、感染地域は国内7件であった。分離された菌種は *Enterobacter cloacae* 3件、*Klebsiella aerogenes* (*Enterobacter aerogenes*) 2件、*Klebsiella pneumoniae* 2件であった。

**急性脳炎:**4名の届出があった。性別は男性3名、女性1名で、病原体はインフルエンザA 2名、ヒトヘルペスウイルス6型1名、不明1名であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病:**3名の届出があった。性別は女性3名で、病型は遺伝性プリオン病1名、孤発性プリオン病・古典型(CJD)2名であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症:**4名の届出があった。性別は男性2名、女性2名で、血清型はA群1名、C・G群3名であった。感染原因・感染経路は創傷感染2名、その他1名、不明1名であった。感染地域はいずれも国内であった。

**後天性免疫不全症候群:**7名の届出があった。性別は男性7名で、内訳はAIDS1名、無症候性キャリア5名、その他1名であった。感染原因・感染経路は異性・同性間性的接触1名、同性間性的接触6名で、感染地域はいずれも国内であった。

**ジアルジア症:**1名の届出があった。性別は女性で、感染原因・感染経路は不明、感染地域は国内であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症:**24名の届出があった。性別は男性16名、女性8名であった。年齢階級別では10歳未満7名、30歳代2名、40歳代2名、50歳代3名、60歳代2名、70歳代1名、80歳代5名、90歳代2名であった。ワクチン接種歴は1回接種7名、接種なし7名、不明10名であった。感染原因・感染経路は飛沫・飛沫核感染8名、その他2名、不明14名であった。

**水痘(入院例):**3名の届出があった。性別は男性3名で、年齢階級別では30歳代2名、40歳代1名であった。感染原因・感染経路は飛沫・飛沫核感染2名、不明1名であった。

**梅毒:**26名の届出があり、前年と比べ増加した。性別は男性18名、女性8名であった。患者20名、無症状病原体保有者6名であった。年齢階級別では10歳代2名、20歳代6名、30歳代5名、40歳代3名、50歳代7名、60歳代1名、80歳代1名、90歳代1名であった。感染原因・感染経路は異性間性的接触20名、同性間性的接触2名、不明4名であった。感染地域は国内21名、不明5名であった。

**百日咳:**98名の届出があった。性別は男性49名、女性49名で、年齢階級別では乳児6名、幼児16名、小学生41名、中学生18名、高校生4名、20歳代1名、30歳代2名、40歳代4名、50歳代3名、60歳代1名、70歳代1名、80歳代1名であった。感染原因・感染経路は家族内感染40名、学校・デイサービス等(推定)11名、不明47名であった。

**風しん:**33名の届出があった。性別は男性26名、女性7名で、年齢階級別では10歳未満3名、20歳代5名、30歳代10名、40歳代8名、50歳代7名であった。感染原因・感染経路は飛沫・飛沫核感染7名、不明25名であった。

**麻しん:**13名の届出があり、佐賀県内では9年ぶりの発生であった。性別は男性9名、女性4名で、年齢階級別では10歳代6名、30歳代5名、40歳代2名であった。感染原因・感染経路は飛沫・飛沫核感染10名、その他1名、不明2名であった。

五類感染症 疾病別診断月別表 1

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	感染原因・感染経路(内容)	感染地域(内容)
アメーバ赤痢	3名	1月	40歳代女性患者 (腸管アメーバ症)	経口感染(推定)	国内(推定)
		2月	40歳代男性患者 (腸管アメーバ症)	不明	国内(推定)
		7月	50歳代男性患者 (腸管アメーバ症)	不明	不明
ウイルス性肝炎	3名	3月	30歳代男性患者 (CMV)	不明	不明
		11月	30歳代男性患者 (EBV)	不明	国内(確定)
		12月	20歳代男性患者 (B型)	性的接触(推定)	国内(推定)
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7名	2月	幼児男児患者	以前からの保菌(推定)	国内(確定)
		2月	70歳代女性患者	以前からの保菌(推定)	国内(推定)
		7月	70歳代男性患者	以前からの保菌(推定)	国内(推定)
		9月	70歳代女性患者	以前からの保菌(確定)	国内(確定)
		10月	90歳代男性患者	以前からの保菌(推定)	国内(推定)
		11月	70歳代女性患者	以前からの保菌(推定)	国内(推定)
		12月	80歳代男性患者	以前からの保菌(推定)	国内(推定)
急性脳炎	4名	2月	50歳代女性患者 (インフルエンザウイルスA)	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(確定)
		7月	20歳代男性患者 (病原体不明)	不明	国内(推定)
		8月	乳児男児患者 (ヒトヘルペスウイルス6型)	飛沫・飛沫核感染(確定)	国内(確定)
		12月	小学校高学年男児患者 (インフルエンザウイルスA)	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(確定)
クロイツフェルト・ヤコブ病	3名	2月	70歳代女性患者(CJD)		
		8月	40歳代女性患者(GSS)		
		11月	50歳代女性患者(CJD)		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4名	2月	80歳代男性患者	創傷感染(確定)	国内(推定)
		5月	90歳代女性患者	右下腿蜂窩織炎(推定)	国内(確定)
		6月	90歳代女性患者	不明	国内(確定)
		6月	30歳代男性患者	創傷感染(推定)	国内(推定)
後天性免疫不全症候群	7名	3月	20歳代男性無症状	同性間性的接触(推定)	国内(推定)
		4月	20歳代男性無症状	異性間・同性間性的接触(推定)	国内(推定)
		4月	60歳代男性患者	同性間性的接触(推定)	国内(推定)
		6月	30歳代男性無症状	同性間性的接触(推定)	国内(推定)
		7月	20歳代男性無症状	同性間性的接触(推定)	国内(推定)
		9月	30歳代男性無症状	同性間性的接触(推定)	国内(推定)
		11月	40歳代男性患者	同性間性的接触(推定)	国内(推定)

五類感染症 疾病別診断月別表 2

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	感染原因・感染経路(内容)	感染地域(内容)
ジアルジア症	1名	5月	90歳代女性患者	不明	国内(確定)
侵襲性肺炎球菌感染症	24名	1月	90歳代女性患者	不明	国内(推定)
		1月	乳児女児患者	不明	国内(推定)
		1月	80歳代女性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		1月	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
		2月	50歳代女性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(確定)
		2月	80歳代女性患者	インフルエンザ感染後の二次的感染(推定)	国内(確定)
		2月	60歳代男性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		4月	80歳代女性患者	不明	国内(推定)
		4月	幼児女児患者	不明	国内(推定)
		4月	幼児男児患者	不明	国内(確定)
		4月	30歳代男性患者	副鼻腔炎疑い(推定)	国内(推定)
		4月	幼児男児患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		5月	70歳代男性患者	不明	国内(推定)
		5月	80歳代男性患者	不明	国内(推定)
		5月	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
		5月	80歳代男性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(確定)
		5月	90歳代男性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		5月	40歳代男性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(確定)
		6月	幼児男児患者	不明	国内(推定)
		8月	30歳代女性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		9月	60歳代男性患者	不明	国内(推定)
		11月	40歳代男性患者	不明	国内(推定)
		12月	幼児男児患者	不明	国内(推定)
		12月	幼児男児患者	不明	国内(確定)
水痘(入院例)	3名	3月	40歳代男性患者	不明	国内(確定)
		11月	30歳代男性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
		12月	30歳代男性患者	飛沫・飛沫核感染(推定)	国内(推定)
梅毒	26名	1月	20歳代女性患者	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		1月	20歳代女性患者	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		2月	20歳代男性無症状	異性間性的接触(推定)	国内(確定)

五類感染症 疾病別診断月別表 3

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	感染原因・感染経路(内容)	感染地域(内容)
梅毒	26名	3月	30歳代男性患者	不明	不明
		4月	20歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	国内(確定)
		4月	40歳代男性患者	異性間性的接触(推定)	国内(確定)
		5月	60歳代男性患者	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		5月	50歳代男性患者	異性間性的接触(推定)	国内(確定)
		6月	10歳代女性患者	異性間性的接触(推定)	国内(確定)
		6月	90歳代男性無症状	不明	不明
		6月	40歳代女性患者	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		6月	高校生女性患者	異性間性的接触(確定)	国内(確定)
		6月	50歳代男性無症状	異性間性的接触(推定)	不明
		7月	20歳代女性患者	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		8月	80歳代女性無症状	不明	国内(推定)
		9月	50歳代男性患者	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		9月	50歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	国内(確定)
		9月	30歳代男性患者	不明	不明
		10月	50歳代女性無症状	異性間性的接触(推定)	国内(確定)
		10月	50歳代男性患者	異性間性的接触(推定)	国内(推定)
		11月	50歳代男性患者	異性間性的接触(推定)	不明
		11月	40歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	国内(確定)
		11月	30歳代男性無症状	同性間性的接触(推定)	国内(推定)
12月	30歳代男性患者	異性間性的接触(確定)	不明		
12月	20歳代男性患者	異性間性的接触(推定)	国内(確定)		
12月	30歳代男性患者	同性間性的接触(推定)	国内(推定)		
百日咳	98名	1月	40歳代女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		1月	乳児男児患者	不明	国内(確定)
		1月	高校生男性患者	不明	国内(推定)
		2月	幼児女児患者	不明	国内(確定)
		2月	幼児男児患者	不明	国内(推定)
		2月	中学生女性患者	不明	国内(確定)
		2月	小学校高学年女児患者	不明	国内(推定)
		2月	小学校低学年女児患者	不明	国内(推定)

五類感染症 疾病別診断月別表 4

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	感染原因・感染経路(内容)	感染地域(内容)
百日咳	98名	2月	小学校低学年女児患者	不明	国内(推定)
		2月	小学校高学年女児患者	不明	国内(確定)
		2月	高校生女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		2月	幼児女児患者	不明	国内(推定)
		3月	中学生男性患者	不明	国内(確定)
		3月	小学校低学年女児患者	学校(推定)	国内(推定)
		3月	40歳代女性患者	家族内感染(確定)	国内(確定)
		3月	小学校高学年女児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		3月	小学校高学年男児患者	不明	国内(推定)
		3月	小学校高学年男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		3月	70歳代男性患者	家族内感染(推定)	国内(確定)
		3月	40歳代女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		3月	中学生男性患者	不明	国内(推定)
		4月	小学校低学年男児患者	不明	国内(推定)
		4月	小学校高学年女児患者	不明	国内(確定)
		4月	小学校低学年女児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		4月	中学生男性患者	家族内感染(推定)	国内(確定)
		4月	幼児女児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		4月	乳児女児患者	不明	国内(推定)
		4月	小学校低学年男児患者	不明	国内(推定)
		4月	小学校低学年男児患者	不明	国内(推定)
		4月	40歳代女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		4月	小学校高学年男児患者	不明	国内(推定)
		5月	30歳代女性患者	不明	国内(推定)
		5月	小学校低学年女児患者	不明	国内(確定)
		5月	中学生男性患者	家族内感染(推定)	国内(確定)
		5月	小学校低学年女児患者	学校(推定)	国内(推定)
		5月	小学校低学年女児患者	学校(確定)	国内(推定)
5月	幼児男児患者	幼稚園(推定)	国内(確定)		
5月	小学校高学年男児患者	学校(推定)	国内(確定)		
5月	幼児女児患者	家族内感染(推定)	国内(確定)		



五類感染症 疾病別診断月別表 5

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	感染原因・感染経路(内容)	感染地域(内容)
百日咳	98名	5月	乳児男児患者	家族内感染(推定)	国内(確定)
		5月	40歳代男性患者	不明	国内(推定)
		5月	中学生女性患者	不明	国内(推定)
		5月	50歳代女性患者	不明	国内(推定)
		5月	小学校高学年男児患者	不明	国内(推定)
		6月	小学校低学年男児患者	不明	不明
		6月	小学校低学年男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		6月	小学校低学年女児患者	学校(推定)	国内(推定)
		6月	中学生女性患者	学校(推定)	国内(確定)
		6月	中学生男性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		6月	中学生男性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		6月	中学生女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		6月	中学生男性患者	学校(推定)	国内(推定)
		6月	小学校高学年女児患者	学校(推定)	国内(推定)
		6月	中学生女性患者	学校(推定)	国内(確定)
		6月	小学校低学年男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		6月	小学校低学年女児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		6月	小学校低学年女児患者	不明	国内(確定)
		6月	幼児男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		6月	小学校低学年男児患者	不明	国内(推定)
		6月	小学校低学年女児患者	不明	国内(推定)
		6月	小学校低学年男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		7月	幼児男児患者	不明	国内(確定)
		7月	10歳代女性患者	不明	国内(確定)
		7月	高校生女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		7月	小学校低学年女児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		7月	中学生女性患者	学校(推定)	国内(確定)
		7月	乳児男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
7月	幼児男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)		
7月	小学校低学年男児患者	家族内感染(推定)	国内(確定)		
8月	小学校低学年男児患者	不明	国内(確定)		

五類感染症 疾病別診断月別表 6

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	感染原因・感染経路(内容)	感染地域(内容)
百日咳	98名	8月	乳児男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		8月	小学校高学年男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		8月	小学校高学年男児患者	家族内感染(推定)	国内(確定)
		8月	小学校低学年女児患者	家族内感染(確定)	国内(確定)
		8月	20歳代女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		8月	50歳代女性患者	不明	国内(推定)
		9月	幼児男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		9月	幼児女児患者	家族内感染(確定)	国内(確定)
		9月	小学校低学年男児患者	不明	国内(推定)
		9月	小学校高学年女児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		9月	小学校高学年男児患者	不明	国内(推定)
		9月	小学校低学年女児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		10月	80歳代男性患者	老人ホーム(推定)	国内(推定)
		10月	小学校高学年女児患者	不明	国内(推定)
		10月	小学校高学年男児患者	不明	不明
		10月	中学生女性患者	不明	国内(確定)
		10月	小学校高学年男児患者	不明	国内(確定)
		10月	中学生男性患者	家族内感染(確定)	国内(確定)
		10月	小学校低学年男児患者	不明	国内(確定)
		10月	乳児男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		10月	60歳代女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
		10月	小学校低学年男児患者	不明	国内(推定)
		10月	幼児女児患者	不明	国内(推定)
		10月	幼児女児患者	不明	国内(推定)
		11月	30歳代男性患者	不明	不明
		11月	小学校高学年男児患者	家族内感染(推定)	国内(推定)
11月	50歳代女性患者	家族内感染(推定)	国内(推定)		
12月	小学校高学年男児患者	不明	国内(推定)		
風しん	33名	1月	50歳代女性患者	不明	国内(確定)
		1月	40歳代男性患者	不明	国内(推定)
		1月	40歳代男性患者	不明	国内(推定)

五類感染症 疾病別診断月別表 7

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	感染原因・感染経路(内容)	感染地域(内容)
風しん	33名	1月	20歳代女性患者	不明	不明
		1月	20歳代男性患者	不明	国内(推定)
		1月	30歳代男性患者	不明	国内(推定)
		1月	50歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		2月	30歳代男性患者	不明	国内(推定)
		2月	30歳代男性患者	不明	国内(推定)
		3月	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
		3月	50歳代女性患者	不明	国内(推定)
		3月	40歳代女性患者	不明	不明
		3月	40歳代男性患者	不明	国内(推定)
		4月	50歳代男性患者	不明	不明
		4月	50歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		4月	30歳代女性患者	不明	国内(推定)
		4月	幼児男児患者	不明	国内(推定)
		4月	50歳代男性患者	不明	国内(推定)
		4月	20歳代男性患者	不明	国内(推定)
		4月	40歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		4月	30歳代男性患者	不明	不明
		5月	30歳代男性患者	不明	不明
		5月	20歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		5月	30歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		5月	30歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国外(台湾)
		5月	20歳代男性患者	不明	国内(推定)
		6月	30歳代女性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		6月	幼児男児患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		6月	30歳代女性患者	不明	不明
		6月	30歳代男性患者	不明	不明
		6月	40歳代男性患者	不明	国内(推定)
		7月	40歳代男性患者	不明	不明
		12月	40歳代男性患者	不明	国外(フィリピン マニラ )

五類感染症 疾病別診断月別表 8

疾病名	人数	診断月	年齢・性別・類型(病型)	感染原因・感染経路(内容)	感染地域(内容)
麻しん	13名	4月	30歳代男性患者	不明	国外(カンボジア)
		5月	30歳代女性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		5月	中学生男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		5月	小学校高学年男児患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		5月	40歳代男性患者	ベトナムで就業(推定)	国外(ベトナム)
		5月	30歳代男性患者	不明	国内(推定)
		5月	40歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		5月	小学校高学年男児患者	飛沫感染(確定)	国内(確定)
		5月	30歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		5月	30歳代男性患者	飛沫感染(推定)	国内(推定)
		6月	小学校高学年女児患者	飛沫感染(確定)	国内(確定)
		6月	中学生女性患者	飛沫感染(確定)	国内(確定)
		6月	中学生女性患者	飛沫感染(推定)	国内(確定)

◆佐賀県感染症発生動向調査(全数届出:一～五類感染症)

単位:人

週	期間	一類							二類							三類					四類																	
		1 エボラ出血熱	2 クリミア・コンゴ出血熱	3 痘そう	4 南米出血熱	5 バスト	6 マールブルグ病	7 ラッサ熱	8 急性灰白髄炎	9 結核	10 ジフテリア	11 重症急性呼吸器症候群	12 中東呼吸器症候群	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	15 コレラ	16 細菌性赤痢	17 腸管出血性大腸菌感染症	18 腸チフス	19 バラチフス	20 E型肝炎	21 ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	22 A型肝炎	23 エキノコックス症	24 黄熱	25 オウム病	26 オムスク出血熱	27 回帰熱	28 キヤサナル森林病	29 Q熱	30 狂犬病	31 コクシジオイデス症	32 サル痘	33 ジカウイルス感染症	34 重症熱性血小板減少症候群	35 腎症候性出血熱		
1	12/31~01/06																																					
2	01/07~01/13								3																													
3	01/14~01/20								3																													
4	01/21~01/27								1																													
5	01/28~02/03								2																													
6	02/04~02/10								3											1																		
7	02/11~02/17								3																													
8	02/18~02/24								1																													
9	02/25~03/03								5																													
10	03/04~03/10								4																													
11	03/11~03/17																																					
12	03/18~03/24																																					
13	03/25~03/31								2																													
14	04/01~04/07																2					1																
15	04/08~04/14								6																													
16	04/15~04/21								3																													
17	04/22~04/28								5							2																						
18	04/29~05/05								1																													
19	05/06~05/12								2																													
20	05/13~05/19								2							2																						
21	05/20~05/26								3							1																						
22	05/27~06/02								1																													
23	06/03~06/09								2							1																						
24	06/10~06/16								6																													
25	06/17~06/23								2							2																						
26	06/24~06/30								4							1																						
27	07/01~07/07								7																													
28	07/08~07/14								4							15																						
29	07/15~07/21								2							4					1																	
30	07/22~07/28								4							2																						
31	07/29~08/04								6							2																						
32	08/05~08/11								4							25																						
33	08/12~08/18								2							16																						
34	08/19~08/25								2							3																						
35	08/26~09/01								5							2																						
36	09/02~09/08								2							12																						
37	09/09~09/15								1							2																						
38	09/16~09/22								3																													
39	09/23~09/29								2							1																						
40	09/30~10/06															4																						
41	10/07~10/13								2							5																						
42	10/14~10/20								1																													
43	10/21~10/27								3							1																						
44	10/28~11/03								2							1							1															
45	11/04~11/10															3																						
46	11/11~11/17								4														2															
47	11/18~11/24								4																													
48	11/25~12/01								1																													
49	12/02~12/08								2							1																						
50	12/09~12/15								1																													
51	12/16~12/22								3																													
52	12/23~12/29								6																													
	<b>佐賀県合計</b>								<b>137</b>							<b>110</b>																						
	<b>全国累計</b>								<b>20,625</b>							<b>5,136,370</b>	<b>35</b>	<b>21</b>	<b>479</b>	<b>420</b>	<b>23</b>			<b>13</b>				<b>7</b>						<b>2</b>	<b>2</b>			<b>3,101</b>

(11)重症急性呼吸器症候群については、病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。(12)中東呼吸器症候群については、病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。(34)重症熱性血小板減少症候群については、病原体がプレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。



五類												
75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87
侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
									1	1		
	3										2	
				1							1	
1									2	2		
				1							1	
1									2			
									2			
2									2			
				1					3	2		
				1					4	2		
										2		
	1								3			
									2			
2									1	1		
1				1					2	2		
				1					5	2		
1									1	2		
1									1	1	1	
4				1					3			
2									4	2	3	
									5	3	4	
				1					1		2	
									1		2	
				3					4	2	1	
				1					10	1		
1				1					2	2		
				1					1			
									2			
									3			
										1		
									2			
									2			
				1								
1									2			
									3			
1												
									2			
				1					2			
				2					2			
									2			
									3			
				2					1			
									5			
									1			
	1											
				2								
									1			
1				1					2			
2				2								
				1					1			
										1		
<b>24</b>	<b>3</b>		<b>26</b>						<b>98</b>	<b>33</b>	<b>13</b>	
48	3,195	472	4	6,435	151	122		78	16,545	2,294	743	25

## 2 定点把握の対象(五類感染症)

**インフルエンザ定点報告:**平成 31 年の年間報告数は 13,314 名で、前年の 16,291 名から減少した(前年比 0.82)。その患者割合は 20 歳未満が多く、全体の 67.7%を占め、特に 10～14 歳が全体の 13.9%と多かった。

インフルエンザ年齢階級別報告数

	～ 5ヶ月	～ 11ヶ月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳
報告数(人)	63	179	584	578	715	786	872	801	715	660	562
割合(%)	0.5	1.3	4.4	4.3	5.4	5.9	6.5	6.0	5.4	5.0	4.2

	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	合計
報告数(人)	1,855	645	680	967	827	590	593	333	309	13,314
割合(%)	13.9	4.8	5.1	7.3	6.2	4.4	4.5	2.5	2.3	

**小児科定点報告:**前年と比較して報告数が 10%以上増加した疾病は、6 疾病あり、特に伝染性紅斑(前年比 8.05)、手足口病(前年比 2.52)が著しく増加した。報告数が 10%以上減少した疾病は、3 疾病あり、特に流行性耳下腺炎(前年比 0.46)が著しく減少した。

**眼科定点報告:**流行性角結膜炎の報告数は 176 名で前年の 120 名より増加(前年比 1.47)した。年齢階級別には、30 歳代 42 名(23.9%)、20 歳未満 28 名(15.9%)、40 歳代 22 名(12.5%)の順に報告が多かった。急性出血性結膜炎の報告は 1 名であった。

**基幹定点週報告:**前年と比較して報告数が 10%以上増加した疾病は、細菌性髄膜炎 7 名(前年比 1.40)、感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)63 名(前年比 1.13)の 2 疾病であった。報告数が 10%以上減少した疾病は、無菌性髄膜炎 11 名(前年比 0.58)の 1 疾患であり、またクラミジア肺炎(オウム病を除く)(前年 1 名)の届出はなかった。前年並みの報告数の疾病は、マイコプラズマ肺炎(前年比 1.05)の 1 疾患であった。

**性感染症月報告:**前年と比較して報告数が 10%以上増加した疾病は、性器ヘルペスウイルス感染症 137 名(前年比 1.29)、尖圭コンジローマ 59 名(前年比 1.20)、性器クラミジア感染症 274 名(前年比 1.10)、の 3 疾病であった。10%以上減少した疾病は淋菌感染症 95 名(前年比 0.86)であった。

**基幹定点月報告:**メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(MRSA)の報告数は 221 名で、昨年の 204 名よりやや増加(前年比 1.08)した。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症(PRSP)の報告数は 15 名でやや減少(前年比 0.88)し、薬剤耐性緑膿菌感染症(MRRP)及び薬剤耐性アシネトバクター(MDRA)の報告はなかった。



平成 31 年五類感染症 定点把握疾病の報告数

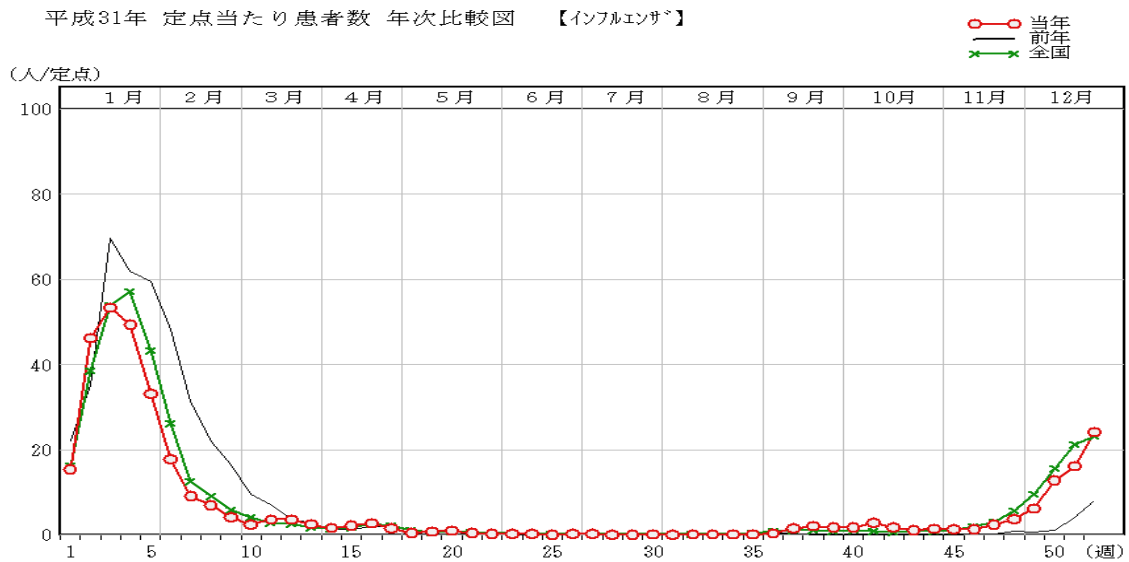
単位：上段 人 (下段) 定点当たり報告数

定点種別	疾病名	平成30年 佐賀県	平成31年 佐賀県	当年/前年	平成31年 全国*
インフルエンザ (週報)	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	16,291 (428.71)	13,314 (350.37)	0.82	1,876,077 (379.77)
小児科 (週報)	RSウイルス感染症	1,173 (53.32)	1,331 (60.5)	1.13	140,091 (44.39)
	咽頭結膜熱	864 (39.27)	1,025 (46.59)	1.19	75,448 (23.91)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,728 (78.55)	2,484 (112.91)	1.44	355,086 (112.51)
	感染性胃腸炎	5,542 (251.91)	4,117 (187.14)	0.74	809,145 (256.38)
	水痘	353 (16.05)	491 (22.32)	1.39	56,798 (18)
	手足口病	1,464 (66.55)	3,682 (167.36)	2.52	402,529 (127.54)
	伝染性紅斑	134 (6.09)	1,079 (49.05)	8.05	108,223 (34.29)
	突発性発しん	766 (34.82)	774 (35.18)	1.01	64,519 (20.44)
	ヘルパンギーナ	1,217 (55.32)	1,051 (47.77)	0.86	97,069 (30.76)
	流行性耳下腺炎	93 (4.23)	43 (1.95)	0.46	15,152 (4.8)
眼科 (週報)	急性出血性結膜炎	4 (1.33)	1 (0.33)	0.25	343 (0.49)
	流行性角結膜炎	120 (40)	176 (58.67)	1.47	23,077 (33.25)
基幹 (週報)	細菌性髄膜炎	5 (0.83)	7 (1.17)	1.40	477 (1)
	無菌性髄膜炎	19 (3.17)	11 (1.83)	0.58	811 (1.69)
	マイコプラズマ肺炎	41 (6.83)	43 (7.17)	1.05	6,070 (12.67)
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 (0.17)	- (-)	0.00	95 (0.2)
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	56 (9.33)	63 (10.5)	1.13	4,694 (9.8)
性感染症 (月報)	性器クラミジア感染症	250 (35.71)	274 (39.14)	1.10	27,221 (27.69)
	性器ヘルペスウイルス感染症	106 (15.14)	137 (19.57)	1.29	9,413 (9.58)
	尖圭コンジローマ	49 (7)	59 (8.43)	1.20	6,263 (6.37)
	淋菌感染症	110 (15.71)	95 (13.57)	0.86	8,205 (8.35)
基幹 (月報)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	204 (34)	221 (36.83)	1.08	16,240 (33.83)
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	17 (2.83)	15 (2.5)	0.88	1,754 (3.65)
	薬剤耐性緑膿菌感染症	2 (0.33)	- (-)	0.00	127 (0.26)
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0.00	- (-)

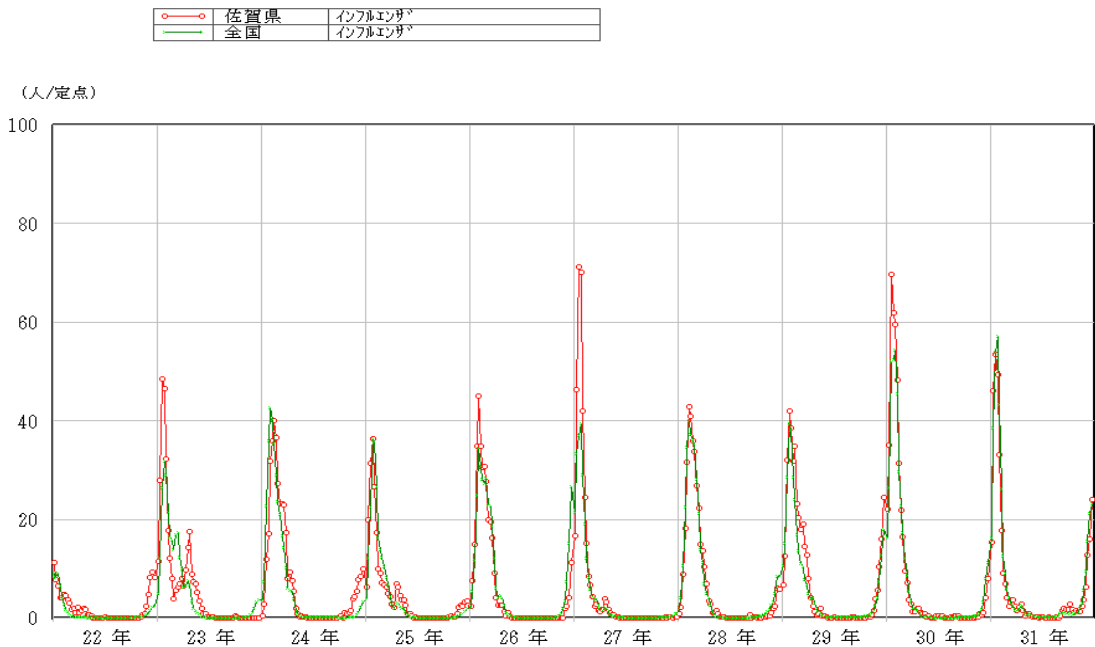
\* 全国のデータは令和元年 3 月 9 日現在の NESID 年報暫定還元データ

(1) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)

平成31年第1週から定点当たりの報告数が注意報レベルの10を超え(15.36)、第2週には警報レベル(30)を超えた(46.18)。更に第3週にピークとなり(53.36)、その後減少に転じた。平成31年に定点医療機関から提出された検体のインフルエンザウイルス検出状況は多い順に、A(H3)香港型 69例、A(H1)pdm09 62例、B型(ビクトリア系統)11例でB型(山形系統)の検出は無かった。



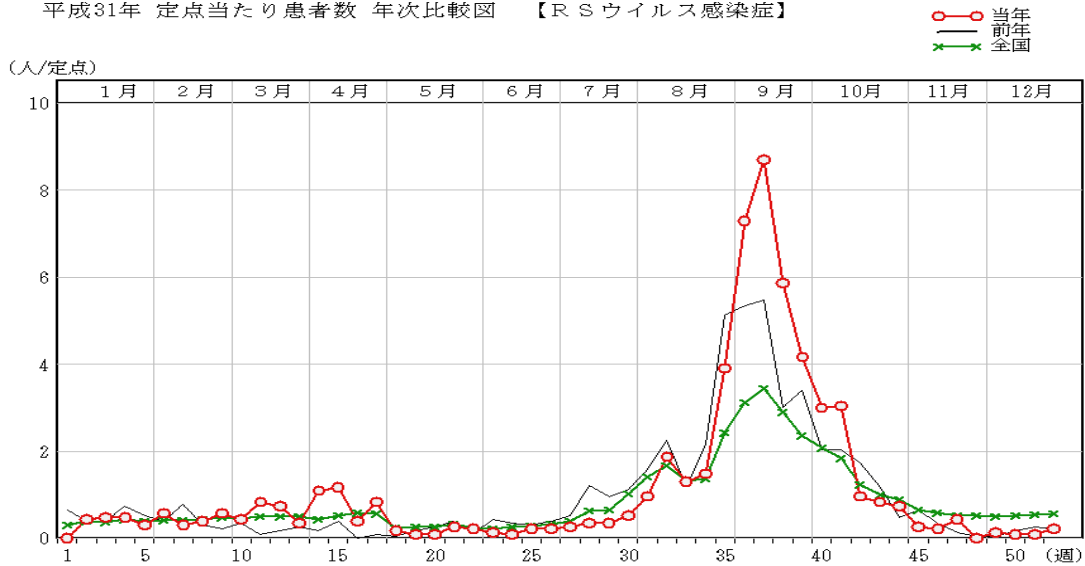
平成31年 定点当たり患者数 年次推移図 【インフルエンザ】



## (2)RSウイルス感染症

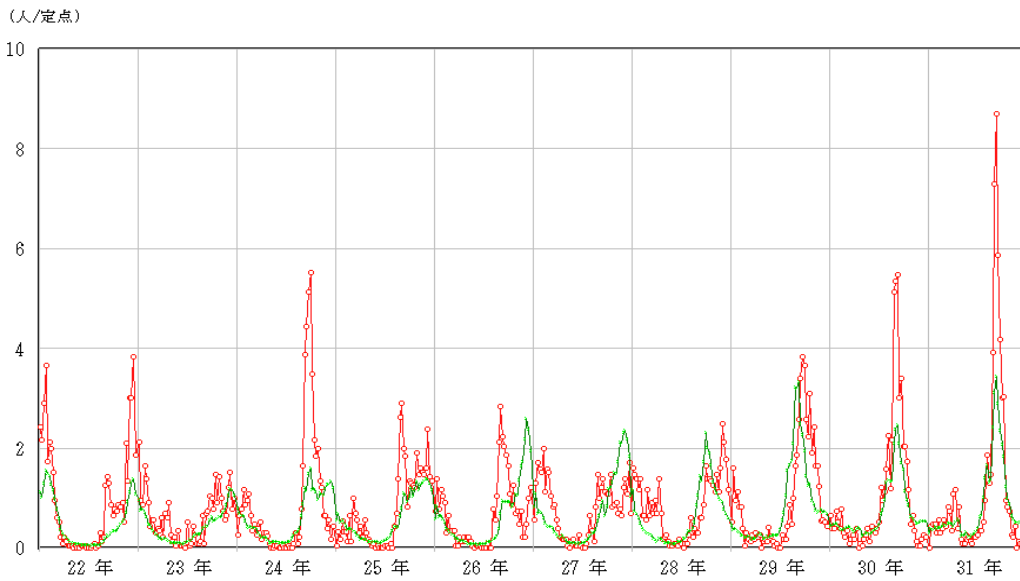
平成31年の報告数は1,331名、定点当たりの当年/前年比は1.13で増加し、特に9月(37週)のピーク時は、定点当たり報告数が8.70であった。年齢階級別報告数で多かったのは順に、1歳児540名(40.6%)、1歳未満児386名(29.0%)、2歳児235名(17.7%)で、2歳児以下が87.2%を占めた。

平成31年 定点当たり患者数 年次比較図 【RSウイルス感染症】



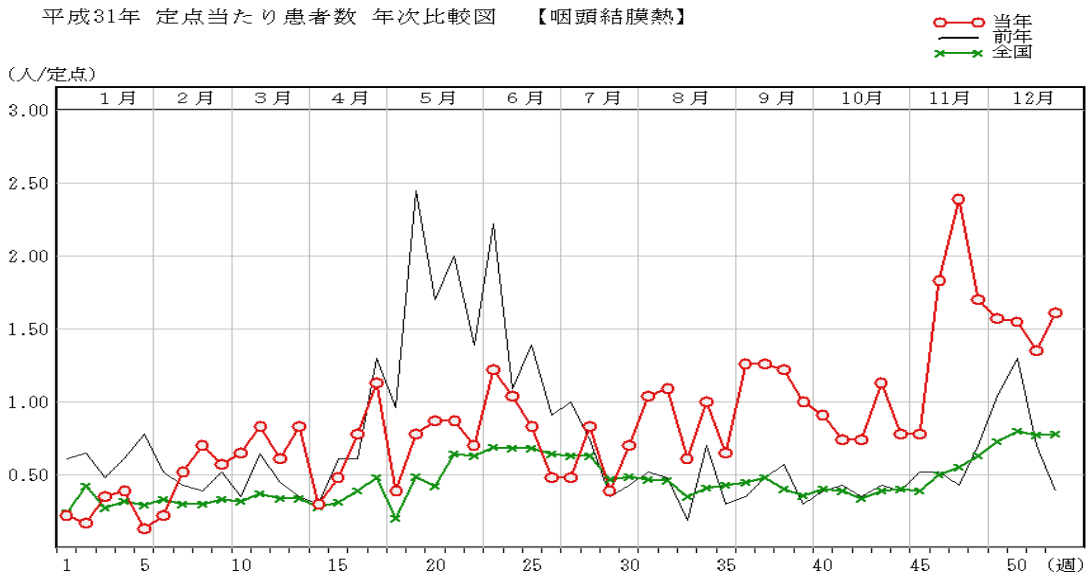
平成31年 定点当たり患者数 年次推移図 【RSウイルス感染症】

○	佐賀県	RSウイルス感染症
×	全国	RSウイルス感染症

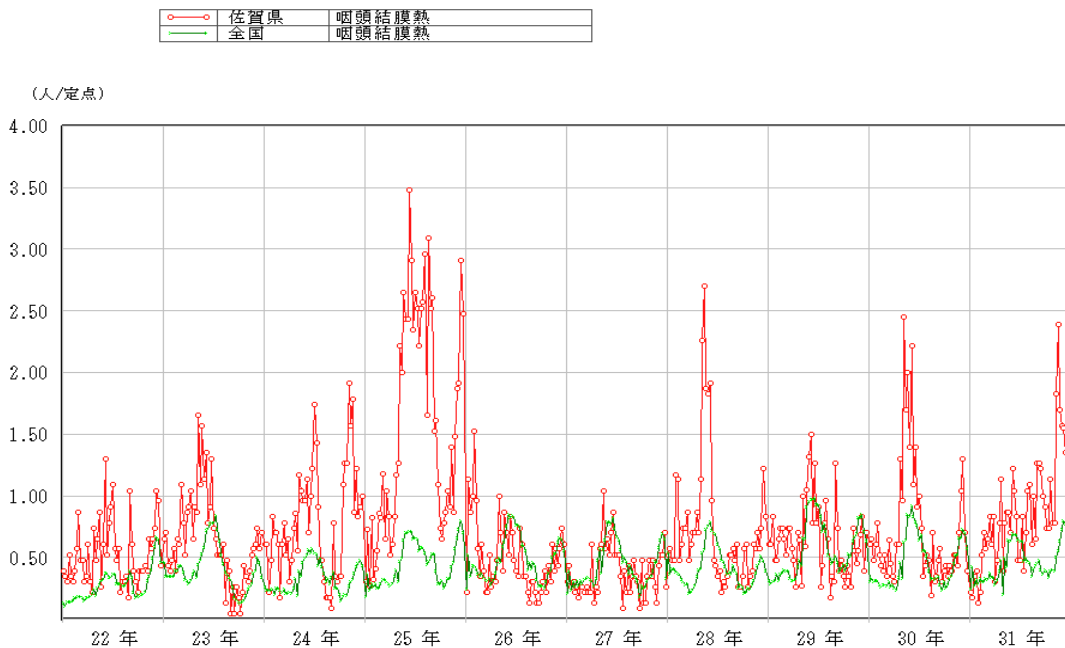


### (3) 咽頭結膜熱

平成 31 年の報告数は 1,025 名、定点当たり 46.59 で、当年/前年比は 1.19 と増加し、特にピーク時の 11 月(47 週)は定点当たり報告数が 2.39 であった。年齢階級別で多かったのは順に、1 歳児 310 名(30.2%)、2 歳児 182 名(17.8%)、3 歳児 165 名(16.1%)であり、1歳から3歳児までが 64.1%を占めた。また警報レベル 3 を超えることはなかった。

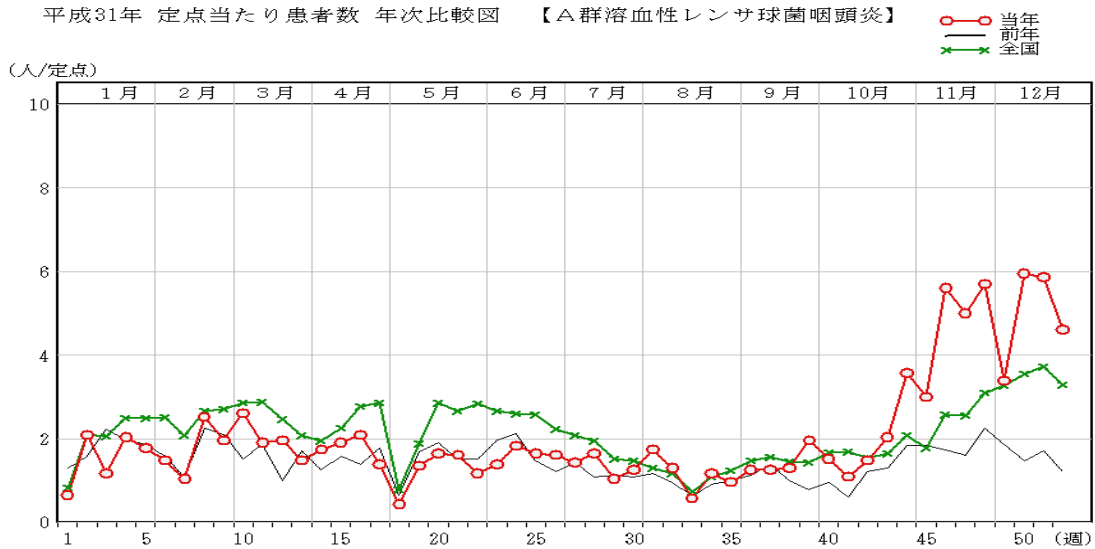


平成 31 年 定点当たり患者数 年次推移図 【咽頭結膜熱】

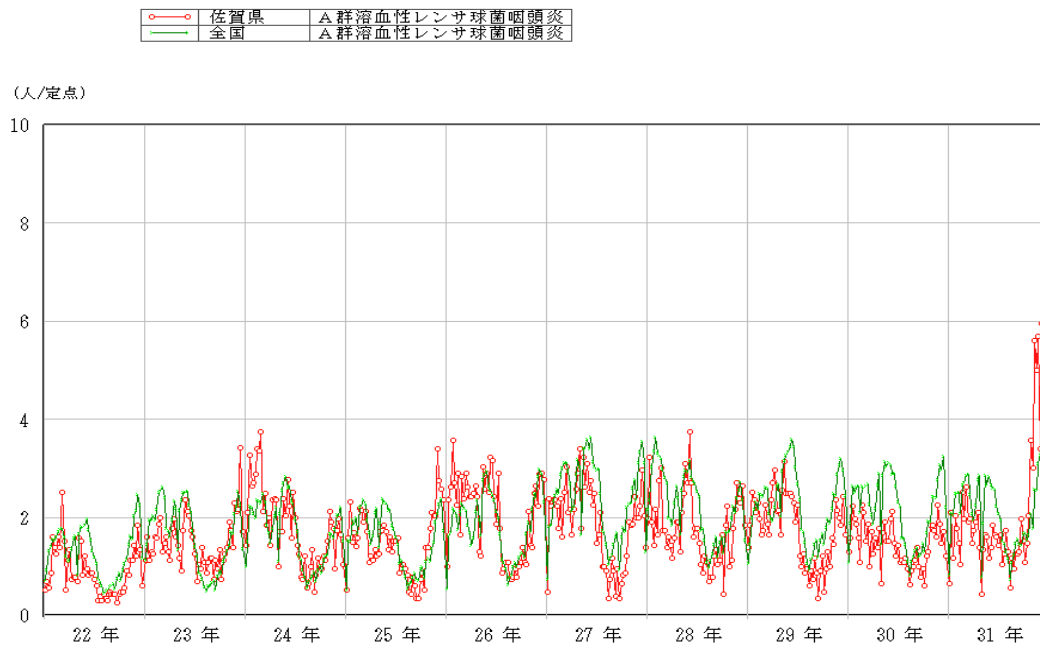


#### (4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

平成31年の報告数は2,484名、定点当たりの当年/前年比は1.44で増加し、特に11月12月が増加した。ピーク時(51週)は定点当たり5.87で警報レベル8を超えることはなかったが11月(44週)～12月(52週)で全体の39.3%であった。年齢階級別で多かったのは順に、4歳児428名(17.2%)、5歳児376名(15.1%)、3歳児332名(13.4%)、で3歳から5歳児が全体の45.7%であった。

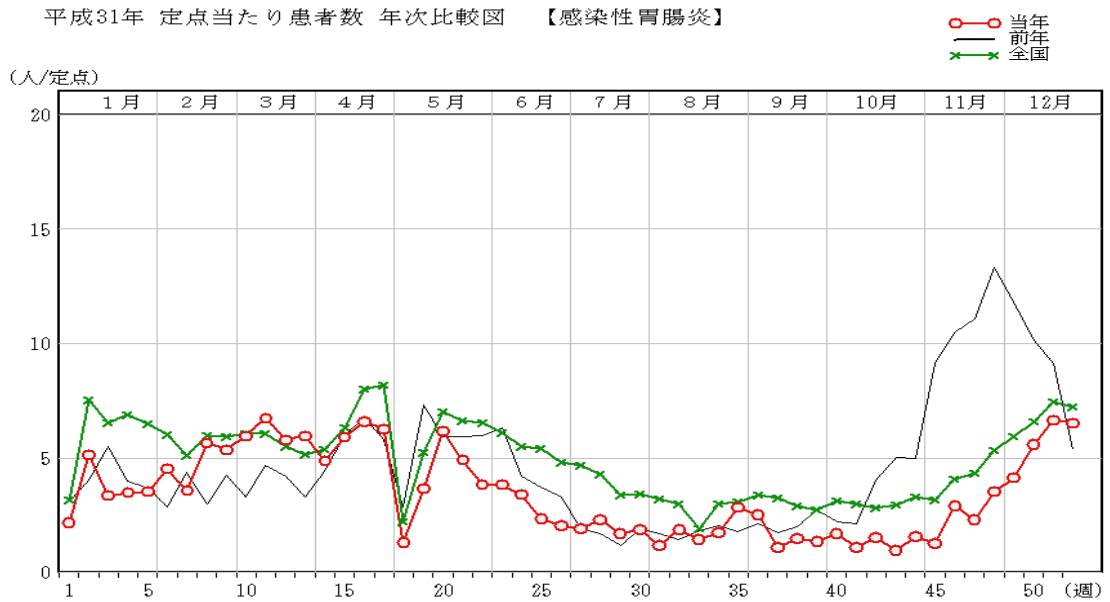


平成31年 定点当たり患者数 年次推移図 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

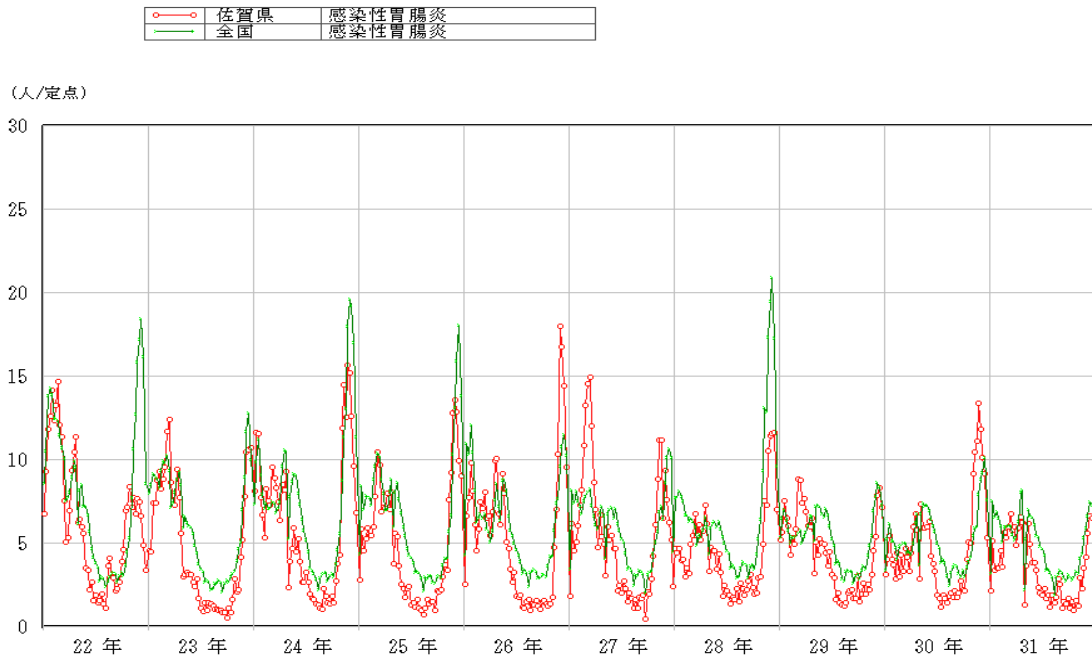


## (5) 感染性胃腸炎

平成31年の報告数は4,117名、定点当たりの当年/前年比は0.74であった。1歳児から6歳児までの総数3,167名で全体の76.9%を占めたが、警報レベル20を超えることはなかった。



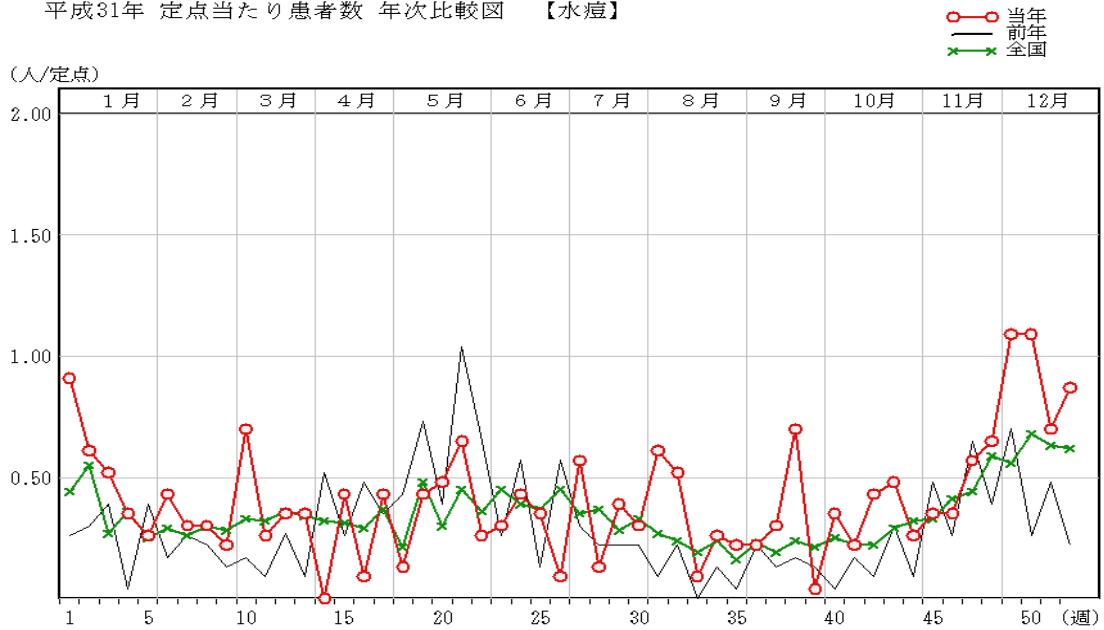
平成31年 定点当たり患者数 年次推移図 【感染性胃腸炎】



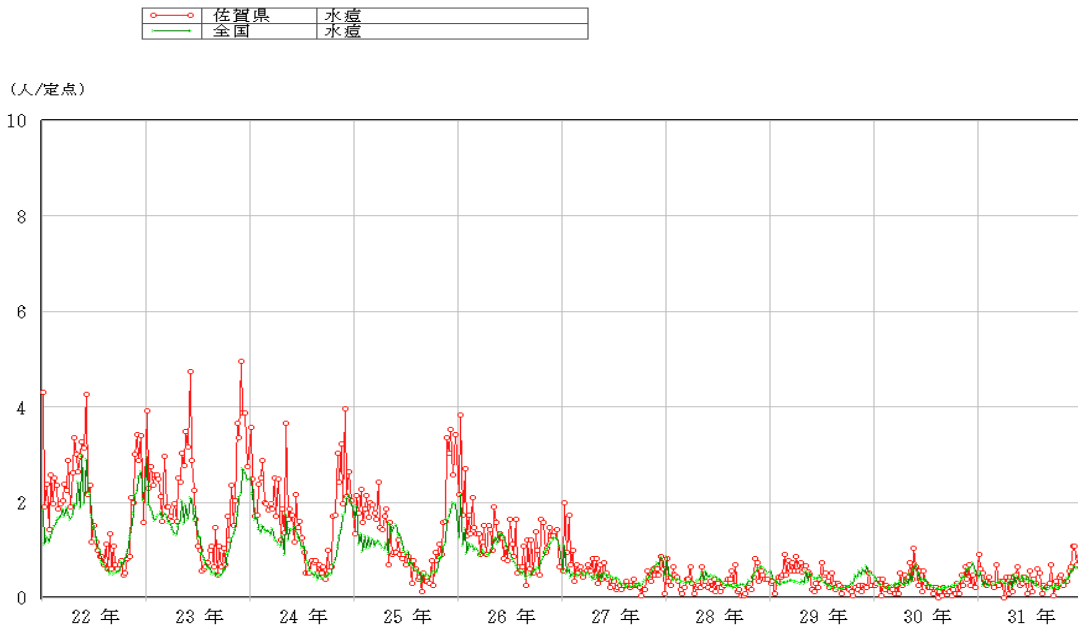
## (6)水痘

平成 31 年の報告数は 491 名で、定点当たりの当年/前年比は 1.39 とやや増加したものの、平成 26 年 10 月から開始された水痘ワクチン定期接種の効果と思われる報告数の減少は継続している。

平成31年 定点当たり患者数 年次比較図 【水痘】

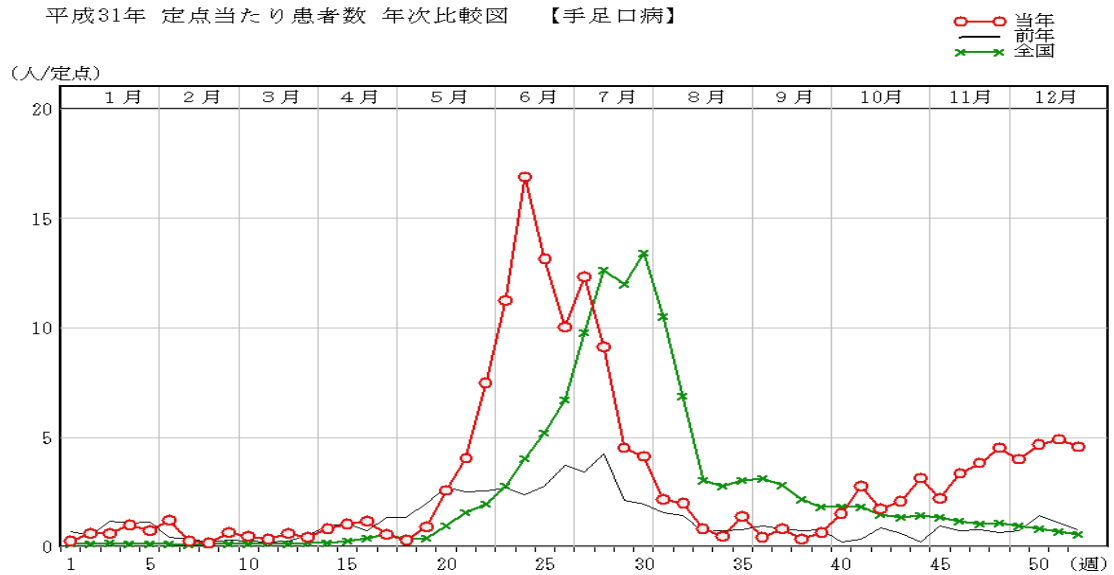


平成 31 年 定点当たり患者数 年次推移図 【水痘】

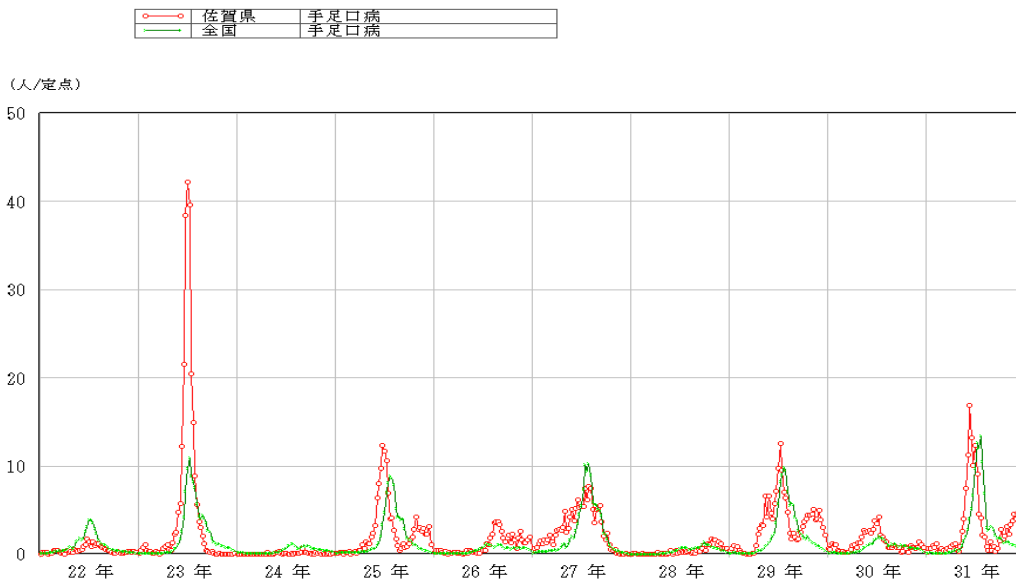


## (7)手足口病

平成31年の報告数は3,682名で、定点当たりの当年/前年比は2.51とかなり増加し、6月(24週)のピーク時では定点当たり報告数が16.91と急増した。特に5月(21週)から7月(29週)にかけて警報レベル5を超えた。また昨年少なかった10月から再度増加傾向を示した。年齢階級別で多かったのは順に、1歳児1,555名(42.2%)、2歳児812名(22.1%)、1歳児未満と3歳児391名(10.6%)であり、3歳児までが64.1%を占めた。



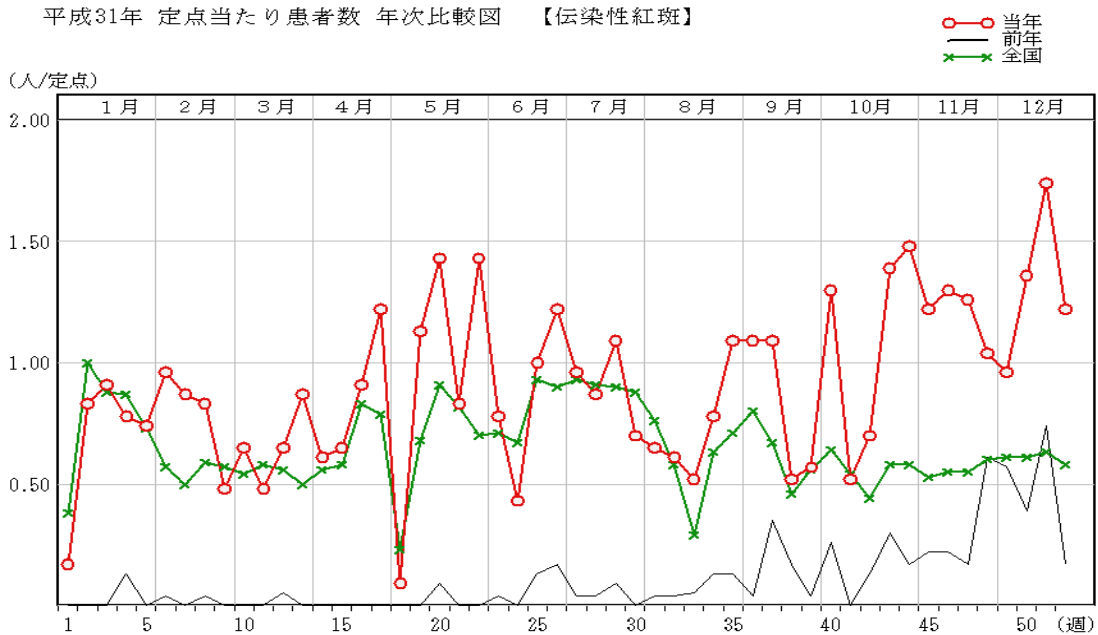
平成31年 定点当たり患者数 年次推移図 【手足口病】



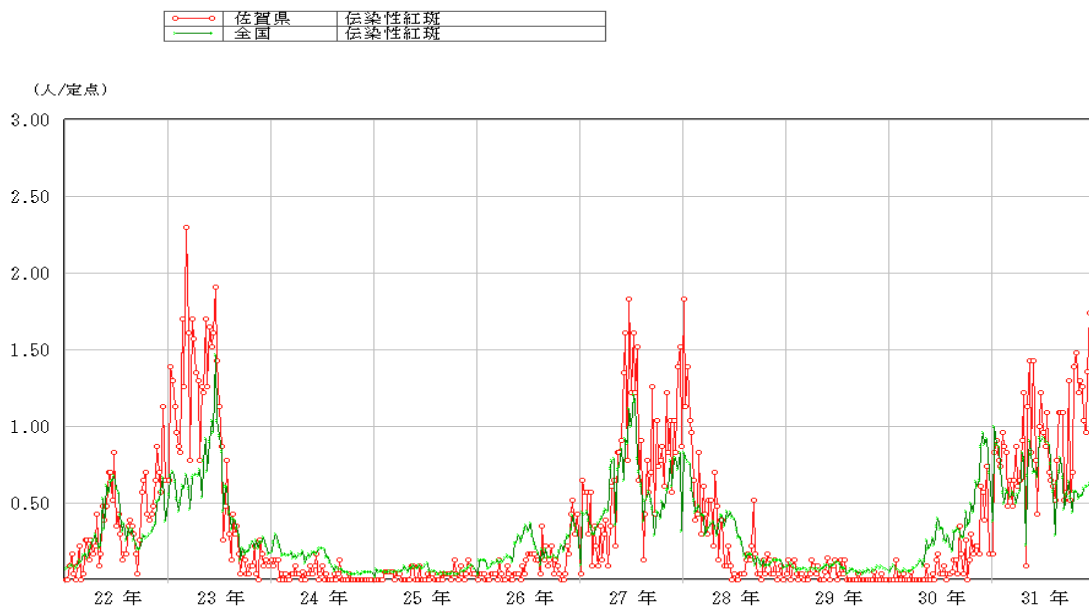


## (8) 伝染性紅斑

平成31年の報告数は1,079名で、定点当たりの当年/前年比は8.05と急増したが、ピーク時の12月(51週)では定点当たり報告数が1.74と警報レベル2を超えることは無かった。年齢階級別で多かったのは、5歳児208名(19.3%)、4歳児189名(17.5%)、3歳児173名(16.0%)の順に多く3歳児～5歳児で全体の52.8%であった。



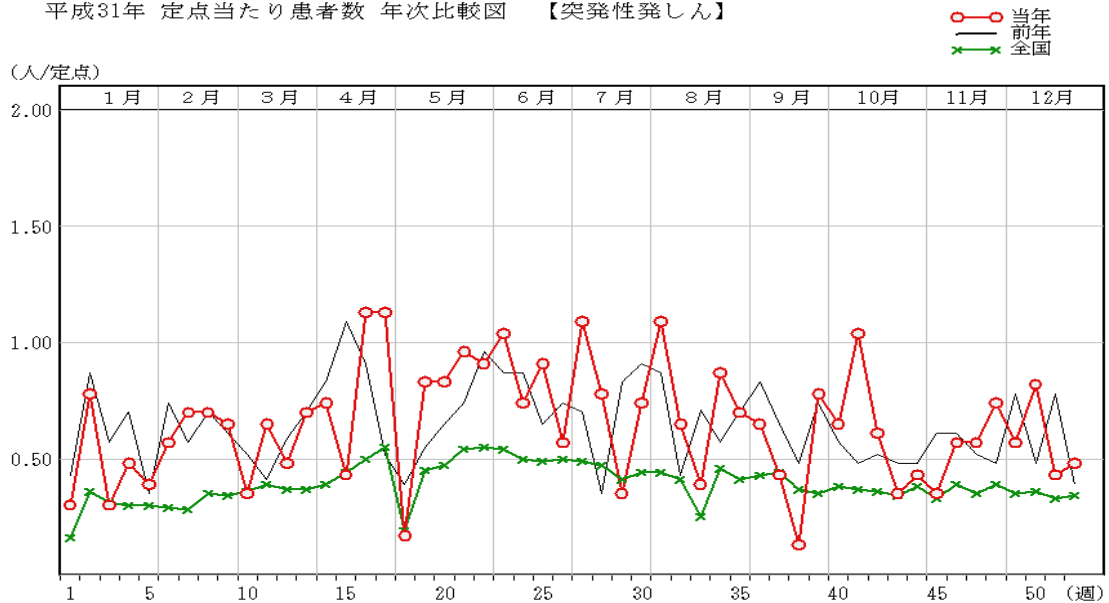
平成31年 定点当たり患者数 年次推移図 【伝染性紅斑】



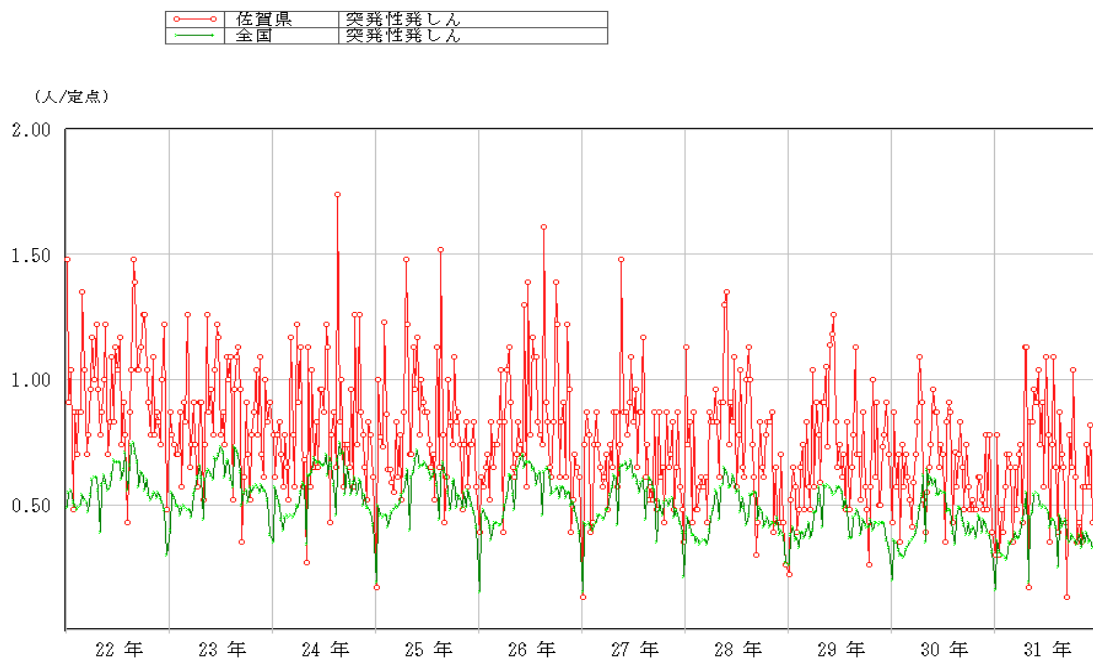
### (9) 突発性発しん

平成31年の報告数は774名で、定点当たりの当年/前年比は1.01であった。年齢階級別で多かったのは順に、1歳児 431名(59.6%)、1歳未満児 273名(35.3%)で、1歳児以下が全体の91.0%を占めた。流行発生警報4を超えることはなかった。

平成31年 定点当たり患者数 年次比較図 【突発性発しん】



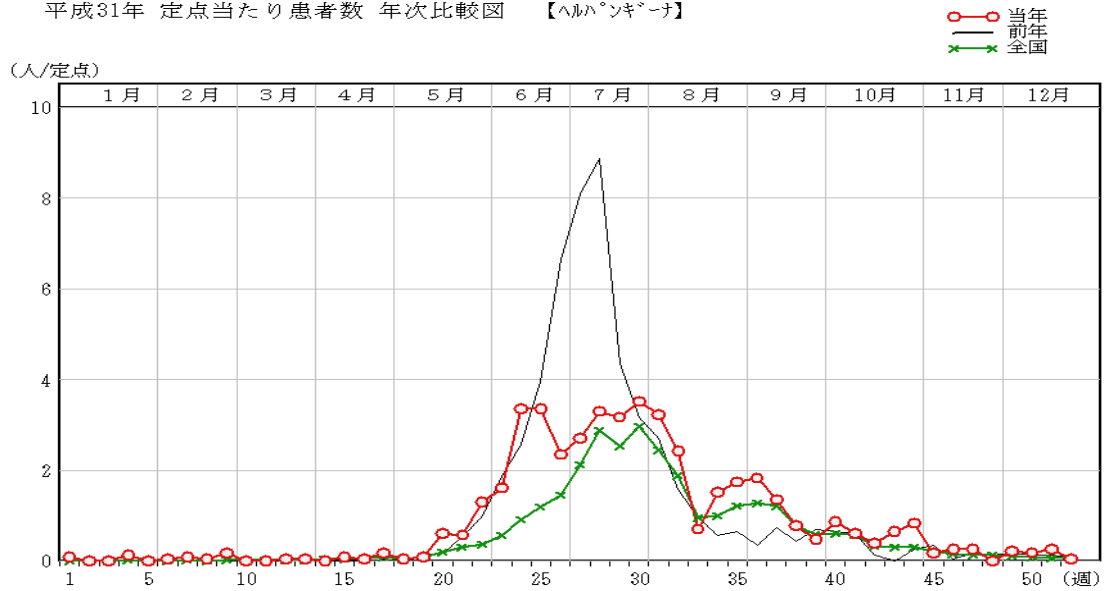
平成31年 定点当たり患者数 年次推移図 【突発性発しん】



### (10) ヘルパンギーナ

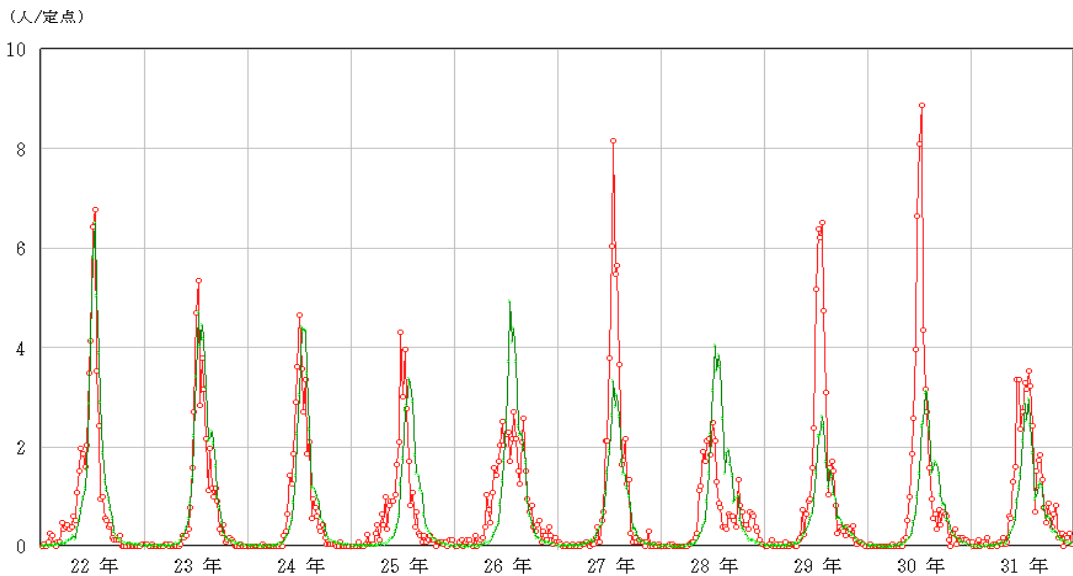
平成31年の報告数は1,051名、定点当たりの当年/前年比は0.86であった。年齢階級別で多かったのは1歳児320名(30.5%)、2歳児251名(23.9%)、3歳児143名(13.6%)であったが、警報レベル6は超えなかった。

平成31年 定点当たり患者数 年次比較図 【ヘルパンギーナ】



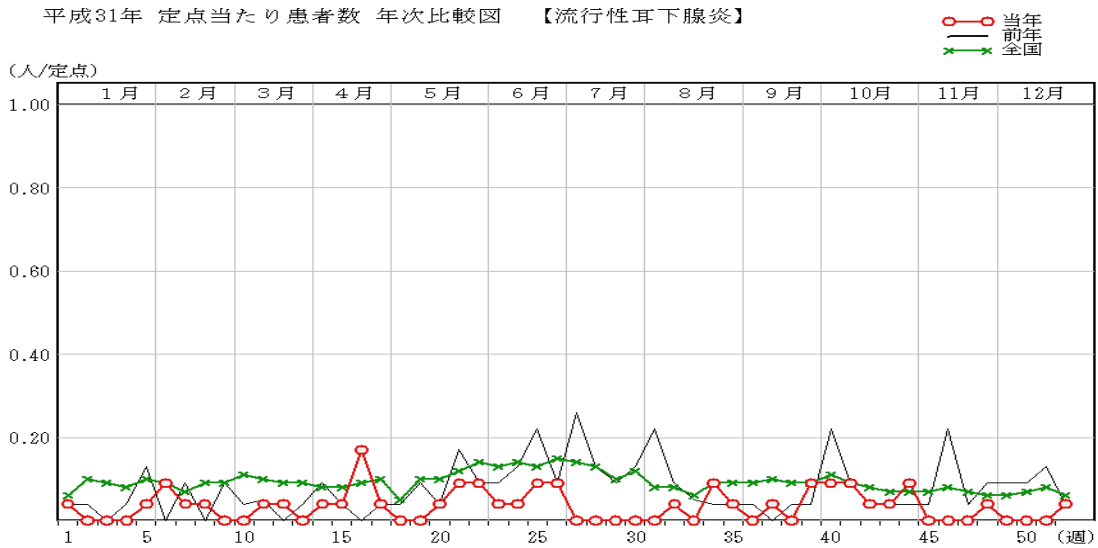
平成31年 定点当たり患者数 年次推移図 【ヘルパンギーナ】

○	佐賀県	ヘルパンギーナ
×	全国	ヘルパンギーナ

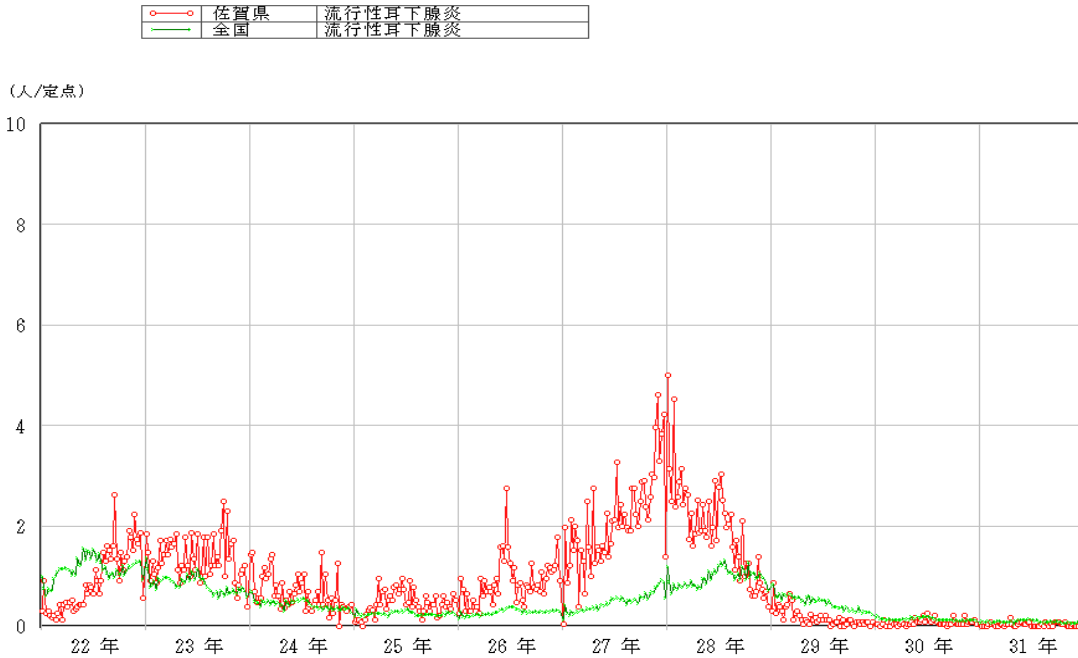


### (11) 流行性耳下腺炎

平成 31 年の報告数は 43 名で、定点当たりの当年/前年比は 0.46 であり、平成 28 年から減少し、平成 31 年も少ない値で推移した。



平成 31 年 定点当たり患者数 年次推移図 【流行性耳下腺炎】



平成 31 年感染症週報 週別患者報告数 1

単位：人

週	期間	インフルエンザ 定点	小児科定点								
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	
1	1/1~1/6	599		5	15	50	22	6	4	7	
2	1/7~1/13	1801	10	4	48	118	14	14	19	18	
3	1/14~1/20	2081	11	8	27	77	12	14	21	7	
4	1/21~1/27	1923	11	9	47	80	8	23	18	11	
5	1/28~2/3	1294	7	3	41	81	6	17	17	9	
6	2/4~2/10	691	13	5	34	104	10	28	22	13	
7	2/11~2/17	356	7	12	24	82	7	6	20	16	
8	2/18~2/24	271	9	16	58	130	7	4	19	16	
9	2/25~3/3	160	13	13	45	123	5	15	11	15	
10	3/4~3/10	95	10	15	60	137	16	11	15	8	
11	3/11~3/17	140	19	19	44	155	6	8	11	15	
12	3/18~3/24	140	17	14	45	133	8	14	15	11	
13	3/25~3/31	96	8	19	34	137	8	10	20	16	
14	4/1~4/7	62	25	7	40	112	0	19	14	17	
15	4/8~4/14	86	27	11	44	136	10	24	15	10	
16	4/15~4/21	106	9	18	48	151	2	27	21	26	
17	4/22~4/28	60	19	26	32	144	10	13	28	26	
18	4/29~5/5	16	4	9	10	30	3	7	2	4	
19	5/6~5/12	30	2	18	31	84	10	21	26	19	
20	5/13~5/19	37	2	20	38	142	10	59	33	19	
21	5/20~5/26	15	6	20	37	113	15	93	19	22	
22	5/27~6/2	7	5	16	27	88	6	172	33	21	
23	6/3~6/9	7	3	28	32	88	7	259	18	24	
24	6/10~6/16	11	2	24	42	78	10	389	10	17	
25	6/17~6/23	2	5	19	38	54	8	303	23	21	
26	6/24~6/30	9	5	11	37	47	2	231	28	13	
27	7/1~7/7	8	6	11	33	44	13	284	22	25	
28	7/8~7/14	2	8	19	38	53	3	210	20	18	
29	7/15~7/21		8	9	24	39	9	104	25	8	
30	7/22~7/28	5	12	16	29	43	7	95	16	17	
31	7/29~8/4		22	24	40	27	14	50	15	25	
32	8/5~8/11	3	43	25	30	43	12	46	14	15	
33	8/12~8/18	3	30	14	13	33	2	19	12	9	
34	8/19~8/25	6	34	23	27	40	6	11	18	20	
35	8/26~9/1	3	90	15	22	65	5	32	25	16	
36	9/2~9/8	13	168	29	29	58	5	10	25	16	
37	9/9~9/15	61	200	29	29	25	7	19	25		
38	9/16~9/22	79	135	28	30	34	16	8	12		
39	9/23~9/29	66	96	23	45	31	1	15	13		
40	9/30~10/6	67	69	21	35	39	8	35	30		
41	10/7~10/13	108	70	17	25	25	5	64	12		
42	10/14~10/20	67	22	17	34	35	10	40	16		
43	10/21~10/27	39	19	26	47	22	11	48	32		
44	10/28~11/3	55	17	18	82	36	6	72	34		
45	11/4~11/10	52	6	18	69	29	8	51	28		
46	11/11~11/17	53	5	42	129	67	8	77	30		
47	11/18~11/24	91	10	55	115	53	13	88	29		
48	11/25~12/1	143		39	131	81	15	104	24		
49	12/2~12/8	241	3	36	78	95	25	92	22		
50	12/9~12/15	486	2	34	131	123	24	103	30		
51	12/16~12/22	628	2	31	135	153	16	113	40		
52	12/23~12/29	940	5	37	106	150	20	105	28		
	合計	13,314	1,331	1,025	2,484	4,117	491	3,682	1,079	570	

平成 31 年感染症週報 週別患者報告数 2

単位：人

週	期間	小児科定点		眼科定点		基幹定点				
		ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)
1	1/1~1/6	2	1							
2	1/7~1/13				1			1		
3	1/14~1/20									
4	1/21~1/27	3								2
5	1/28~2/3		1		2			1		
6	2/4~2/10	1	2		1	1		1		2
7	2/11~2/17	2	1					3		1
8	2/18~2/24	1	1					1		1
9	2/25~3/3	4			1					6
10	3/4~3/10				1					3
11	3/11~3/17	1						1		6
12	3/18~3/24	1	1		1					8
13	3/25~3/31	1			5					3
14	4/1~4/7		1		1			1		1
15	4/8~4/14	2	1		6			4		5
16	4/15~4/21	1	4		6			2		6
17	4/22~4/28	4	1		4					5
18	4/29~5/5	1			2			1		3
19	5/6~5/12	2			2		1			5
20	5/13~5/19	14	1		3		1			
21	5/20~5/26	13	2		1					2
22	5/27~6/2	30	2	1			1			1
23	6/3~6/9	37	1		10			1		
24	6/10~6/16	77	1		11					1
25	6/17~6/23	77	2		3			1		
26	6/24~6/30	54	2		5			2		
27	7/1~7/7	62			1					
28	7/8~7/14	76			2	1	1			
29	7/15~7/21	73			3					
30	7/22~7/28	81			3					
31	7/29~8/4	74			1					
32	8/5~8/11	56	1							
33	8/12~8/18	16			4	1				
34	8/19~8/25	35	2		24	1	2			
35	8/26~9/1	40	1		11	1				
36	9/2~9/8	42			6		1	1		
37	9/9~9/15	31	1		3	1		2		
38	9/16~9/22	18			12		1	2		
39	9/23~9/29	11	2		7					1
40	9/30~10/6	20	2		3			2		
41	10/7~10/13	14	2		7			3		
42	10/14~10/20	9	1		2			3		
43	10/21~10/27	15	1		2			2		
44	10/28~11/3	19	2		2		1			
45	11/4~11/10	4			9					
46	11/11~11/17	6			3					
47	11/18~11/24	6			2			1		
48	11/25~12/1		1		1			4		1
49	12/2~12/8	5					1	1		
50	12/9~12/15	4			1					
51	12/16~12/22	6			1					
52	12/23~12/29	1	1			1		3		
	合計	1,051	43	1	176	7	11	43	0	63

平成 31 年感染症週報 年齢階級別報告数

単位：人

年齢区分	インフルエンザ定点	小児科定点							
	インフルエンザ*	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん
～5ヶ月	63	135	3	2	24	6	20		7
～11ヶ月	179	251	108	13	277	29	371	7	266
1歳	584	540	310	128	822	52	1,555	57	431
2歳	578	235	182	208	628	15	812	77	51
3歳	715	105	165	332	464	35	391	173	13
4歳	786	46	106	428	397	55	262	189	3
5歳	872	12	65	376	327	52	116	208	2
6歳	801	3	40	289	228	55	52	136	1
7歳	715	1	18	201	165	64	28	97	
8歳	660		9	153	134	46	22	62	
9歳	562		4	117	122	35	13	26	
10～14歳	1,855	2	13	180	266	45	24	42	
15～19歳	645			11	60	2	1	2	
20～29歳	680								
30～39歳	967								
40～49歳	827								
50～59歳	590	1	2	46	203		15	3	
60～69歳	593								
70～79歳	333								
80歳以上	309								
合計	13,314	1,331	1,025	2,484	4,117	491	3,682	1,079	774

単位：人

年齢区分	小児科定点		眼科定点		基幹定点				
	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
～5ヶ月	12			3					7
～11ヶ月	101			6			2		5
1歳	320	2		7			7		13
2歳	251	11		5			2		16
3歳	143	6		8	1		1		3
4歳	88	5		7			4		5
5歳	62	10	1	3			2		3
6歳	36	5		1			2		2
7歳	9	2		4			2		3
8歳	13	1		2			3		1
9歳	4	1					2		4
10～14歳	11			7			6		
15～19歳				3		1			
20～29歳				28		6	4		
30～39歳				42	2		1		
40～49歳				22		2	2		1
50～59歳		1		14		1			
60～69歳				11	3		1		
70～79歳				3	1	1	2		
80歳以上									
合計	1,051	43	1	176	7	11	43	0	63

平成 31 年 感染症月報 月別報告数

単位：人

月	性感染症定点				基幹定点		
	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染 症	尖圭コンジロー マ	淋菌感染症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球 菌感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌感 染症	薬剤耐性緑 膿菌感染症
1月	22	15	5	11	21	2	
2月	24	8	4	6	13	2	
3月	25	10	3	10	14		
4月	28	18	3	4	16	4	
5月	23	15	6	11	23	5	
6月	17	10	9	5	19	1	
7月	26	10	6	8	18	1	
8月	19	16	9	6	18		
9月	25	9	3	12	19		
10月	25	7	3	8	15		
11月	19	8	5	8	26		
12月	21	11	3	6	19		
合計	274	137	59	95	221	15	0

平成 31 年 感染症月報 性感染症定点の性別・年齢階級別報告数

単位：人

年齢区分	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染 症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳								
1歳～4歳								
5歳～9歳								
10歳～14歳								
15歳～19歳	8	18	1	1	1		6	1
20歳～24歳	58	25	6	6	9	2	24	1
25歳～29歳	45	15	10	12	9	1	17	1
30歳～34歳	26	12	8	9	13	1	17	
35歳～39歳	17	9	5	5	5	1	8	1
40歳～44歳	15		2	4	2	1	5	
45歳～49歳	12		6	5	1	2	3	
50歳～54歳	8	2	10	2	4		10	
55歳～59歳	3		5	5	5			
60歳～64歳	1		13	3	2		1	
65歳～69歳			4	2				
70歳以上			8	5				
合計	193	81	78	59	51	8	91	4



平成 31 年 感染症月報 基幹定点の性別・年齢階級別報告数

単位：人

年齢区分	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染 症	薬剤耐性緑膿菌感染症
0歳			
1歳～4歳	1		
5歳～9歳			
10歳～14歳			
15歳～19歳	2		
20歳～24歳			
25歳～29歳	2		
30歳～34歳	2		
35歳～39歳	1		
40歳～44歳	1		
45歳～49歳	9		
50歳～54歳	6		
55歳～59歳	10	2	
60歳～64歳	20	1	
65歳～69歳	21	4	
70歳以上	146	6	
合計	221	15	0

### Ⅲ 検査情報

# 1 衛生薬業センターにおける検出状況

## (1) ウイルス

単位：件

臨床診断名	検出病原体名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフルエンザ	件数	44	18	17	10	4	2			14	7	4	21	141
	検出													
	インフルエンザAH1pdm	19	1	2						11	7	2	20	62
	インフルエンザAH3亜型	27	16	12	9	3	1						1	69
	インフルエンザB型(山形系統)													0
	インフルエンザB型(ヒノカキ系統)		1	3	1	1	1			3		1		11
感染性胃腸炎	件数		3	2	18	3		11				7		44
	検出													
	ノロウイルスG I		1											1
	ノロウイルスG II				2	2		10						14
	ロタウイルス		1											1
	ロタウイルスA		1	2	7	1								11
	アストロウイルス											1		1
手足口病	件数	1	1		2	5	2	8	1		1			21
	検出													
	エンテロウイルス					1								1
	コクサッキーウイルス A6	1			2	3	2	4						12
	コクサッキーウイルス A16								1		1			2
	ライノウイルス					1								1
	ヒトヘルペスウイルス 5 (CMV)					1		3						4
ヘルパンギーナ	件数					1	1	2						4
	検出													
	コクサッキーウイルス B3					1								1
	コクサッキーウイルス A6						1	2						3
	ヒトヘルペスウイルス 6					1								1
咽頭結膜熱	件数								2			2		4
	検出													
	アデノウイルス 1型								1					1
	アデノウイルス 2型											1		1
	アデノウイルス 3型								1			1		2
無菌性髄膜炎	件数				3		6	3	17			2		31
	検出													
	エンテロウイルス								1					1
	コクサッキーウイルス B3				2		3							5
	コクサッキーウイルス B5											1		1
	エコーウイルス 11								1					1
	エコーウイルス 30							1	7					8
	ライノウイルス								1					1
	バルボウイルスB19								1					1
風しん	件数	10	6	2	32	28	12	8	2	2	3	6	3	114
	検出													
	風しんウイルス	3	2	2	15	7	4							33
	麻しんウイルス				2	11								13
	バルボウイルスB19	1	2	1	5		1	3	1		3			17
	ヒトヘルペスウイルス 3							2						2
	ヒトヘルペスウイルス 4 (EBV)		1				1							2
	ヒトヘルペスウイルス 5 (CMV)				2									2
	ヒトヘルペスウイルス 6						1							1
	ヒトヘルペスウイルス 7	1			1	2					1			5
	ライノウイルス				1		1							2
麻しん	件数		3	6	5	51	8		9			3	3	88
	検出													
	麻しんウイルス					18	1							19
	風しんウイルス		3	1		2							3	9
	バルボウイルスB19			1					1					2
	ヒトヘルペスウイルス 5 (CMV)			2	1									3
	ヒトヘルペスウイルス 6			2					2					4
ヒトヘルペスウイルス 7					5	1		2					8	
	コクサッキーウイルス A4						1							1
リケッチア感染症	件数			2	6	2	2	2	2	7	8	3	6	40
	検出													
	ツツガムシ												5	5
	日本紅斑熱			2	1		2			2	5	1		13

単位：件

臨床診断名	検出病原体名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
重症熱性血小板減少症候群	件数			1	4		3	2	2	1	1	2	1	17
	検出 SFTSウイルス													0
A型肝炎	件数				1						1	6		8
	検出 A型肝炎ウイルス				1							4		5
E型肝炎	件数		1					2						3
	検出 E型肝炎ウイルス		1					1						2
デング熱	件数								2					2
	検出 デング熱ウイルス													0
チクングニア熱	件数								2					2
	検出 チクングニア熱ウイルス													0
急性脳炎	件数						4	2						6
	検出 コクサッキーウイルス B3							1						1
	検出 パルボウイルスB19								1					1
そ の 他	件数	9	3	18	10	1	4	7	7	6	0	0	7	72
	検出 コクサッキーウイルス A6			1										1
	検出 コクサッキーウイルス B3					1			1					2
	検出 エコーウイルス 11							1						1
	検出 エコーウイルス 30								2					2
	検出 ライノウイルス			1			1							2
	検出 アデノウイルス 2型							1						1
	検出 アデノウイルス 3型													0
	検出 パルボウイルスB19	1	1	1										3
	検出 ヒトヘルペスウイルス 4(EBV)	1		1										2
	検出 ヒトヘルペスウイルス 5(CMV)			2									1	3
	検出 ヒトヘルペスウイルス 6	1							1				1	3
	検出 ヒトヘルペスウイルス 7			1					1		1			3
	検出 ポカウイルス				1									1
	検出 HcoV NL63		1											1
件数合計		64	35	48	91	95	44	47	46	30	21	35	41	597
検出合計		55	32	37	53	62	22	31	23	18	16	12	31	392

## (2) 細菌(菌株収集)

単位：件

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
サルモネラ属菌血清型	<i>Salmonella</i> Bardo										1			1	
	<i>Salmonella</i> Bareilly		2						1	1				4	
	<i>Salmonella</i> Braenderup							2		1	1	1		5	
	<i>Salmonella</i> Brancaster										1			1	
	<i>Salmonella</i> Brandenburg							2	10	1				13	
	<i>Salmonella</i> Indiana	1													1
	<i>Salmonella</i> Infantis				1		1		11	2	5			2	22
	<i>Salmonella</i> Miyazaki							2	1	3	1				7
	<i>Salmonella</i> Othmarschen								1						1
	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund				1		1								2
	<i>Salmonella</i> Stanley							1				1			2
	<i>Salmonella</i> Thompson						1	1	1	1	2		1		7
	<i>Salmonella</i> Typhimurium								1						1
	検査件数	1	2	0	2	1	4	8	25	10	10	2	2		67
レンサ球菌A群溶血性T型別	T-11					1			1					2	
	T-12							1						1	
	その他					1								1	
	検査件数					2		1	1					4	
病原性大腸菌免疫血清型	O1	1			1			1					1	4	
	O6	3	2	2	3	1	3	3	2	1	1	1		22	
	O8	1								2	2	1	1	7	
	O15			2		1			1	1	1	1		7	
	O18	3	4	3		1	4	6		2	2	2		27	
	O20				1			1		1	1		1	5	
	O25	4	7	5	2	6	6	8	3	8	9	2	2	62	
	O26					1		1	3					5	
	O44								1		1			2	
	O55					1					1			2	
	O63								1					1	
	O91								1		1			2	
	O103							1						1	
	O111		1											1	
	O115			1										1	
	O119					1		1	1					3	
	O121								2					2	
	O125						2							2	
	O126			1					1	1				3	
	O128				1				2					3	
	O142											1		1	
	O143							1	3				1	5	
	O146								1					1	
	O153			1	2		1		2			1		7	
	O157				1			1	1	5	1	1	1	11	
	O159				1				2					3	
	O165							1						1	
	O166							1		1				2	
	O169								1	1				2	
	O127a			1										1	
	O28ac								1					1	
	O86a		1	1	1						1			4	
	OUT						1		1		2			4	
検査件数	12	15	17	13	15	18	27	25	24	22	10	7	205		
検査件数合計	13	17	17	15	18	22	35	50	34	32	12	9	276		

## 2 水道水源河川水の原虫検査

クリプトスポリジウム症については、過去にアメリカで40万人以上が発症した事例があり、国内では、埼玉県において水道水を介して約8,000人もの感染者を出している。

この病原性原虫であるクリプトスポリジウムとジアルジアについて、当センターにおいても県内の主要河川における汚染状況を検査してきた。

令和元年度は水道原水4地点について検査を実施したが、いずれの検体からも検出されなかった。

### 検査結果

採水日	令和元年5月13日(月)				
採水時刻	10時20分	10時30分	10時45分	10時41分	
採水地点	鳥栖保健福祉事務所管内				
	専用水道	専用水道	専用水道	専用水道	
結果	クリプトスポリジウム	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
	ジアルジア	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず

## IV 医療機関病原体検出情報

## 医療機関病原体検出情報(年報及び月報)

「医療機関検出情報及び菌株収集実施要領」に基づき、地域の中核医療機関等の臨床検査室(微生物部門)の病原体検出数(月報)を集計し、その結果を医療機関に還元することにより、良質かつ適切な医療の提供に寄与し、感染症発生の予防及びまん延の防止を目的とする。

### 対象医療機関

佐賀大学医学部附属病院検査部

独立行政法人国立病院機構 佐賀病院研究検査科

独立行政法人国立病院機構 東佐賀病院研究検査科

独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター臨床検査科

地方独立行政法人佐賀県医療センター 好生館検査部

独立行政法人地域医療機能推進機構 佐賀中部病院検査室

唐津赤十字病院検査技術課

伊万里有田共立病院検査室

唐津東松浦医師会医療センター臨床検査部

公益財団法人 佐賀県健康づくり財団



病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年分

佐賀県衛生業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Escherichia coli, Salmonella, Shigella, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Plesiomonas, Campylobacter, Clostridium, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Escherichia coli, Klebsiella, Haemophilus, etc.

MRSAmethicillin-resistant-S.aureus
PRSPpenicillin-resistant-S.pneumoniae
PISPpenicillin-intermediate-S.pneumoniae

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Escherichia coli, Haemophilus, Neisseria, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Bordetella, Haemophilus, Neisseria, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Neisseria, Chlamydia, Ureaplasma, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Escherichia coli, Salmonella, Haemophilus, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Mycobacterium, Klebsiella, Haemophilus, etc.

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道頭管擦過(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 1月分

佐賀県衛生業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Escherichia coli, Salmonella, Shigella, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Plesiomonas, Campylobacter, Clostridium, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Escherichia coli, Klebsiella, Haemophilus, etc.

MRSAmethicillin-resistant-S.aureus
PRSPpenicillin-resistant-S.pneumoniae
PISPpenicillin-intermediate-S.pneumoniae

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Escherichia coli, Haemophilus, Neisseria, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Bordetella, Haemophilus, Neisseria, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Neisseria, Chlamydia, Ureaplasma, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Escherichia coli, Salmonella, Haemophilus, etc.

Table with columns: 病原菌名, 検出数, 検出割合. Rows include Mycobacterium, Klebsiella, Haemophilus, etc.

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道頭管擦過(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 2月分

佐賀県衛生産業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with columns: 分類材料: 糞便, 病原体名, 検体数, 検出数. Lists various pathogens like Escherichia coli, Salmonella, and Shigella.

Table with columns: 分類材料: 糞便 (つづき), 病原体名, 検出数. Continuation of fecal samples, including Klebsiella pneumoniae and Haemophilus influenzae.

Table with columns: 分類材料: 唾液, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from saliva samples such as Streptococcus pneumoniae and Haemophilus influenzae.

Table with columns: 分類材料: 血液, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from blood samples including Escherichia coli, Salmonella typhi, and Neisseria meningitidis.

Table with columns: 分類材料: 咽頭/鼻咽喉, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from throat/nasopharynx samples like Bordetella pertussis and Haemophilus influenzae.

Table with columns: 分類材料: 喀痰, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from sputum samples including Mycobacterium tuberculosis and Legionella pneumophila.

Table with columns: 分類材料: 生殖器, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from genital samples such as Neisseria gonorrhoeae and Chlamydia trachomatis.

Table with columns: 分類材料: 穿刺液, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from puncture fluids including Escherichia coli and Klebsiella pneumoniae.

MRSA: methicillin-resistant-S.aureus
PRSP: penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP: penicillin-intermediate-S.pneumoniae

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道頭管排泄物(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 3月分

佐賀県衛生産業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with columns: 分類材料: 糞便, 病原体名, 検体数, 検出数. Lists various pathogens from fecal samples.

Table with columns: 分類材料: 糞便 (つづき), 病原体名, 検出数. Continuation of fecal samples.

Table with columns: 分類材料: 唾液, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from saliva samples.

Table with columns: 分類材料: 血液, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from blood samples.

Table with columns: 分類材料: 咽頭/鼻咽喉, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from throat/nasopharynx samples.

Table with columns: 分類材料: 喀痰, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from sputum samples.

Table with columns: 分類材料: 生殖器, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from genital samples.

Table with columns: 分類材料: 穿刺液, 病原体名, 検出数. Lists pathogens from puncture fluids.

MRSA: methicillin-resistant-S.aureus
PRSP: penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP: penicillin-intermediate-S.pneumoniae

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道頭管排泄物(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 4月分

佐賀県衛生業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:糞便 (821)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:糞便(つづき)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:血液 (60)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:血液 (1943)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:咽頭/鼻咽喉 (1612)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:唾液 (1414)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:生殖器 (518)

MRSA: methicillin-resistant-S.aureus
PRSP: penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP: penicillin-intermediate-S.pneumoniae

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道管擦過(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 5月分

佐賀県衛生業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:糞便 (686)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:糞便(つづき)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:血液 (56)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:血液 (1965)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:咽頭/鼻咽喉 (1446)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:唾液 (1306)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料:生殖器 (506)

MRSA: methicillin-resistant-S.aureus
PRSP: penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP: penicillin-intermediate-S.pneumoniae

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道管擦過(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 6月分

佐賀県衛生薬学センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 糞便 (728)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 糞便 (つづき) (61)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 膿液 (61)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 血液 (1816)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 穿刺液 (162)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 咽頭/鼻咽喉 (1138)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 喀痰 (1278)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 生殖器 (454)

MRSAmethicillin-resistant-S.aureus
PRSP:penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP:penicillin-intermediate-S.pneumoniae

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰・気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道頭管擦過(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 7月分

佐賀県衛生薬学センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 糞便 (793)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 糞便 (つづき) (70)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 膿液 (70)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 血液 (2089)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 穿刺液 (202)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 咽頭/鼻咽喉 (1039)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 喀痰 (1341)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 検出率, 備考. Section: 分離材料: 生殖器 (507)

MRSAmethicillin-resistant-S.aureus
PRSP:penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP:penicillin-intermediate-S.pneumoniae

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰・気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道頭管擦過(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設

報告内容 2019年 8月分

佐賀県衛生事業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:糞便 検体数( 856)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:糞便(つづき)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:穿刺液 検体数( 202)

MRSAmethicillin-resistant-S.aureus
PRSP,penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP,penicillin-intermediate-S.pneumoniae

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:膿液 検体数( 83)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:咽頭/鼻咽喉 検体数( 1221)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:生組織 検体数( 492)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:血液 検体数( 2205)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:喀痰 検体数( 1268)

穿刺液・胸水・腹水・関節液など
咽頭・咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰・喀痰・気管吸引液および下気道からの材料
陰部・陰部尿道頭管擦過(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設

報告内容 2019年 9月分

佐賀県衛生事業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:糞便 検体数( 755)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:糞便(つづき)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:穿刺液 検体数( 173)

MRSAmethicillin-resistant-S.aureus
PRSP,penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP,penicillin-intermediate-S.pneumoniae

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:膿液 検体数( 42)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:咽頭/鼻咽喉 検体数( 1676)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:生組織 検体数( 492)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:血液 検体数( 1938)

Table with 4 columns: 病原菌名, 検出数, 報告数, 検出率. Section: 分離材料:喀痰 検体数( 1291)

穿刺液・胸水・腹水・関節液など
咽頭・咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰・喀痰・気管吸引液および下気道からの材料
陰部・陰部尿道頭管擦過(分泌)物

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 10月分

佐賀県衛生産業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

分種材料:糞便 検体数(677)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists various bacteria like Escherichia coli, Salmonella, etc.

分種材料:血液 検体数(56)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists bacteria like Escherichia coli, Haemophilus influenzae, etc.

分種材料:血液 検体数(1921)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists bacteria like Escherichia coli, Salmonella typhi, etc.

分種材料:鼻咽液 検体数(1666)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists bacteria like Bordetella pertussis, Haemophilus influenzae, etc.

分種材料:喀痰 検体数(1330)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists bacteria like Mycobacterium tuberculosis, Klebsiella pneumoniae, etc.

穿刺液: 胸水・膿水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道頭管擦過(分泌)物

MRSAmethicillin-resistant-S.aureus
PRSP:penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP:penicillin-intermediate-S.pneumoniae

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設
報告内容 2019年 11月分

佐賀県衛生産業センター
FAX: 0952-30-5033
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

分種材料:糞便 検体数(714)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists various bacteria like Escherichia coli, Salmonella, etc.

分種材料:血液 検体数(57)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists bacteria like Escherichia coli, Haemophilus influenzae, etc.

分種材料:血液 検体数(1970)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists bacteria like Escherichia coli, Salmonella typhi, etc.

分種材料:鼻咽液 検体数(1746)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists bacteria like Bordetella pertussis, Haemophilus influenzae, etc.

分種材料:喀痰 検体数(1304)
Table with columns: 病原菌名, 検出数, 菌株数/検出数. Lists bacteria like Mycobacterium tuberculosis, Klebsiella pneumoniae, etc.

穿刺液: 胸水・膿水・関節液など
咽頭: 咽頭及び鼻咽喉からの材料
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
陰部: 陰部尿道頭管擦過(分泌)物

MRSAmethicillin-resistant-S.aureus
PRSP:penicillin-resistant-S.pneumoniae
PISP:penicillin-intermediate-S.pneumoniae

病原体検出状況報告書

報告機関名 10施設  
報告内容 2019年 12月分

佐賀県衛生薬学センター  
FAX: 0952-30-5033  
E-mail: med@kansen.pref.saga.jp

分離材料: 糞便		検体数 ( 729 )	
病原菌名	検出数	菌株数	検出率 (%)
305 Escherichia coli:腸管出血性EHEC/VTEC	0	0	
093 Escherichia coli:毒素原性 ETEC	0	0	
092 Escherichia coli:相續機入性 EIEC	0	0	
094 Escherichia coli:病原大腸菌血清型 EPEC	0	0	
095 Escherichia coli:他の下痢原性	1	0	
003 Salmonella typhi	0	0	
004 Salmonella paratyphi A	0	0	
005 Salmonella O2	0	0	
006 Salmonella O4	0	0	
007 Salmonella O7	2	0	
008 Salmonella O8	0	0	
009 Salmonella O9	0	0	
010 Salmonella O9,46	0	0	
201 Salmonella O1,3,19	0	0	
014 Salmonella O13	0	0	
015 Salmonella O18	0	0	
016 Salmonella:上記以外の群( )	0	0	
017 Salmonella:群不明	0	0	
503 Listeria monocytogenes	0	0	
018 Yersinia enterocolitica	0	0	
019 Yersinia pseudotuberculosis	0	0	
405 V.cholerae O1:El Tor,Ogawa,CT(+)	0	0	
406 V.cholerae O1:El Tor,Inaba,CT(-)	0	0	
407 V.cholerae O1:Classical,Ogawa,CT(+)	0	0	
408 V.cholerae O1:El Tor,Inaba,CT(-)	0	0	
409 V.cholerae O1:Classical,Ogawa,CT(+)	0	0	
410 V.cholerae O1:Classical,Ogawa,CT(-)	0	0	
411 V.cholerae O1:Classical,Inaba,CT(+)	0	0	
412 V.cholerae O1:Classical,Inaba,CT(-)	0	0	
413 V.cholerae O139,CT(+)	0	0	
414 V.cholerae O139,CT(-)	0	0	
415 V.cholerae O1&O139以外	0	0	
022 Vibrio parahaemolyticus	0	0	
104 Vibrio fluvialis	0	0	
115 Vibrio mimicus	0	0	
116 Vibrio vulnificus	0	0	
206 Aeromonas hydrophila	0	0	
207 Aeromonas sobria	0	0	
111 Aeromonas hydrophila/sobria:種別せず	0	0	

病原菌名		検出数	菌株数	検出率 (%)
101 Plesiomonas sigelloides		0	0	
208 Campylobacter jejuni		8	0	
209 Campylobacter coli		1	0	
023 Campylobacter jejuni/coli:種別せず		34	0	
241 MRSA		7	0	
024 Staphylococcus aureus(MRSA以外)		7	0	
025 Clostridium perfringens		1	0	
026 Clostridium botulinum,E		0	0	
027 Clostridium botulinum,E以外		0	0	
028 Bacillus cereus		0	0	
Shigella dysenteriae 型( )		0	0	
Shigella flexneri 型( )		0	0	
Shigella boydii 型( )		0	0	
090 Shigella sonnei		0	0	
091 Shigella:群不明		0	0	
041 Entamoeba histolytica		0	0	
042 Cryptosporidium spp.		0	0	
043 Giardia lamblia		0	0	
501 ROT A virus		0	0	
502 ADENO virus		3	0	
合計		64	0	

分離材料: 穿刺液		検体数 ( 146 )	
病原菌名	検出数	菌株数	検出率 (%)
001 Escherichia coli	4	0	
119 Klebsiella pneumoniae	0	0	
118 Haemophilus influenzae	0	0	
030 Neisseria meningitidis	0	0	
030 Pseudomonas aeruginosa	0	0	
163 Mycobacterium spp.	0	0	
241 MRSA	4	0	
024 Staphylococcus aureus(MRSA以外)	5	0	
421 Staphylococcus aureus:379γ-セ陰性	4	0	
381 PRSP/PISP	0	0	
038 Streptococcus pneumoniae(PRSP/PISP以外)	0	0	
422 Anaerobea	6	0	
125 Mycoplasma pneumoniae	0	0	
116 Vibrio vulnificus	0	0	
合計	23	0	

MRSA: methicillin-resistant-*S.aureus*  
PRSP: penicillin-resistant-*S.pneumoniae*  
PISP: penicillin-intermediate-*S.pneumoniae*

分離材料: 膿液		検体数 ( 44 )	
病原菌名	検出数	菌株数	検出率 (%)
001 Escherichia coli	0	0	
118 Haemophilus influenzae	0	0	
030 Neisseria meningitidis	0	0	
106 Listeria monocytogenes	0	0	
241 MRSA	0	0	
024 Staphylococcus aureus(MRSA以外)	1	0	
032 Streptococcus B	0	0	
381 PRSP/PISP	0	0	
038 Streptococcus pneumoniae(PRSP/PISP以外)	0	0	
合計	1	0	

分離材料: 唾液/鼻咽喉		検体数 ( 2564 )	
病原菌名	検出数	菌株数	検出率 (%)
037 Bordetella pertussis	0	0	
118 Haemophilus influenzae	23	0	
030 Neisseria meningitidis	0	0	
031 Streptococcus A	14	0	
381 PRSP/PISP	4	0	
038 Streptococcus pneumoniae(PRSP/PISP以外)	8	0	
036 Corynebacterium diphtheriae	0	0	
504 Influenza virus A	440	0	
505 Influenza virus B	2	0	
506 RS virus	4	0	
合計	495	0	

分離材料: 生殖器		検体数 ( 527 )	
病原菌名	検出数	菌株数	検出率 (%)
029 Neisseria gonorrhoeae	0	0	
032 Streptococcus B	22	0	
124 Ureaplasma	0	0	
423 Candida albicans	14	0	
162 Trichomonas vaginalis	0	0	
合計	36	0	

分離材料: 血液		検体数 ( 1538 )	
病原菌名	検出数	菌株数	検出率 (%)
001 Escherichia coli	64	0	
003 Salmonella typhi	0	0	
004 Salmonella paratyphi A	0	0	
426 Salmonella spp.	0	0	
118 Haemophilus influenzae	0	0	
030 Neisseria meningitidis	0	0	
503 Listeria monocytogenes	0	0	
102 Pseudomonas aeruginosa	13	0	
241 MRSA	13	0	
024 Staphylococcus aureus(MRSA以外)	17	0	
421 Staphylococcus aureus:379γ-セ陰性	39	0	
032 Streptococcus B	4	0	
381 PRSP/PISP	0	0	
038 Streptococcus pneumoniae(PRSP/PISP以外)	5	0	
422 Anaerobea	16	0	
042 Plasmodium spp.	0	0	
116 Vibrio vulnificus	0	0	
合計	171	0	

分離材料: 喀痰		検体数 ( 1412 )	
病原菌名	検出数	菌株数	検出率 (%)
109 Mycobacterium tuberculosis	16	0	
110 Mycobacterium avium-intracellulare complex	13	0	
119 Klebsiella pneumoniae	85	0	
118 Haemophilus influenzae	55	0	
039 Legionella pneumophila	0	0	
102 Pseudomonas aeruginosa	131	0	
241 MRSA	185	0	
024 Staphylococcus aureus(MRSA以外)	112	0	
031 Streptococcus A	0	0	
032 Streptococcus B	45	0	
381 PRSP/PISP	1	0	
038 Streptococcus pneumoniae(PRSP/PISP以外)	19	0	
422 Anaerobea	4	0	
125 Mycoplasma pneumoniae	1	0	
合計	667	0	

穿刺液: 胸水・腹水・関節液など  
咽喉: 咽喉及び鼻咽喉からの材料  
喀痰: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料  
陰部: 陰部尿道拭き物(分泌)物

## V 資料



## 佐賀県感染症発生動向調査病原体検査指針

### 1 病原体検査の目的

感染症の発生情報の正確な把握と分析評価及び感染症に関する情報の県民や医療機関への的確な提供は、感染症対策の基本である。

特に、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく感染症発生動向調査で得られる病原体の情報については、感染症患者へ良質かつ適切な医療を提供するために必要不可欠であるとともに、感染症の予防及びまん延防止に大きく寄与することから、公衆衛生上、重要な意義がある。

よって、医療機関の協力を得て、感染症の病原体を収集・分析し、早期に有効かつ的確な感染症対策を行うため、病原体検査事業を実施する。

### 2 対象感染症及び検査材料

別表のとおりとする。

### 3 病原体定点

病原体定点（検査材料を採取する医療機関）は、感染症発生動向調査事業における指定届出機関のうち県が別途指定する。

### 4 検査実施機関

佐賀県衛生薬業センター

### 5 検査材料の採取、提供及び送付方法

「検査材料の採取及び送付要領」に定めるとおり。

### 6 検査材料数

小児科病原体定点が採取する検査材料数は、別記 1 に定める対象感染症から月 4 症例を提出するものとする。

インフルエンザ病原体定点が採取する検査材料数は、県内の患者発生数が 1 を超えた時点から 1 を下回るまでの間（流行期）は週 1 検体を、1 を下回る間（非流行期）は月 1 検体（非流行期の検体については、インフルエンザ様疾患の検体でも可）を提出するものとする。

基幹病原体定点が採取する検査材料数は、病原体定点、佐賀県衛生薬業センター及び佐賀県健康増進課が協議の上、調整するものとする。

ただし、地域において特別な事例が発生していると想定される場合においては、病原体定点、佐賀県衛生薬業センター及び佐賀県健康増進課が協議の上、検査材料数を調整するものとする。

7 検査依頼票

別添「病原体検査依頼票（成績表）」のとおり。

8 その他

検査材料の採取に必要な容器は、佐賀県衛生薬業センターが用意し、各病原体定点へ配付する。

附則 本指針は、平成13年7月1日から適用する。

附則 本指針は、平成16年4月1日から適用する。

附則 本指針は、平成20年8月1日から適用する。

附則 本指針は、平成28年4月1日から適用する。

附則 本指針は、平成30年1月1日から適用する。

附則 本指針は、平成31年4月1日から適用する。

## 対象感染症及び検査材料

対象感染症	検査材料
咽頭結膜熱	咽頭ぬぐい液
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	咽頭ぬぐい液
感染性胃腸炎	便
手足口病	咽頭ぬぐい液 便
ヘルパンギーナ	咽頭ぬぐい液 便
流行性耳下腺炎	咽頭ぬぐい液
インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	鼻咽頭または咽頭ぬぐい液
細菌性髄膜炎	髄液
無菌性髄膜炎	髄液、咽頭ぬぐい液、便

# 検査材料の採取及び送付要領

## 第1 趣旨

「佐賀県感染症発生動向調査病原体検査指針」の検査材料の採取及び送付方法等について、この要領を定める。

## 第2 対象感染症及び検査材料

「佐賀県感染症発生動向調査病原体検査指針」の別表のとおり。

## 第3 検査材料の採取等

### 1 検査材料の採取及び保管

#### (1) 検査材料の採取

病原体定点は、検査材料を採取する際には、病原体検査について検体提供者に説明し、「同意書」の提出を受けた後、採取する。

#### (2) 採取方法

##### 1) 咽頭ぬぐい液

滅菌綿棒で咽頭をよくぬぐい、輸送培地にその綿棒を浸す。(可能な場合は、輸送培地に2本採取する。)綿棒の柄の部分をはさみ等で切り落として密栓する。

##### 2) 鼻咽頭ぬぐい液

滅菌綿棒で鼻腔口から耳孔を想定して鼻腔の最下縁に沿って挿入し、最奥部に数秒おいて綿棒を引き抜き、輸送培地にその綿棒を浸す。(可能な場合は、輸送培地に2本採取する。)綿棒の柄の部分をはさみ等で切り落として密栓する。

##### 3) 便

排便直後の便を採取し、細菌検査用には、抗生物質投与前の便を採取するようにする。

##### 4) 髄液

無菌的に1～5mlを採取して、滅菌容器に入れ密栓する。

#### (3) 検体の保管

別記1～3の「検体採取後の保存及び送付方法」により保管する。

ただし、検査材料の送付が採取後直ちに実施される場合はこの限りではない。

### 2 検査材料の送付

各病原体定点は、採取した検査材料に「同意書」及び「病原体検査依頼票(成績書)」を添付して、佐賀県健康づくり財団佐賀県健診・検査センターへ渡す。

佐賀県健康づくり財団佐賀県健診・検査センターは、病原体定点から渡された検査材料等を佐賀県衛生薬業センターに随時搬入する。

## 第4 検査結果

佐賀県衛生薬業センターは、検査材料を採取した病原体定点に検査結果を通知するとともに、病原体に関する検査情報を関係機関等に公表・提供する。

附 則 この要領は、平成13年7月1日から実施する。

附 則 この要領は、平成16年4月1日から実施する。

附 則 この要領は、平成20年8月1日から実施する。

附 則 この要領は、平成28年4月1日から実施する。

附 則 この要領は、平成30年1月1日から実施する。

附 則 この要領は、平成30年1月4日から実施する。

## 小児科病原体定点用

## 1 対象感染症

- ・ 咽頭結膜熱
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- ・ 感染性胃腸炎
- ・ 手足口病
- ・ ヘルパンギーナ
- ・ 流行性耳下腺炎

## 2 検査材料数等

- ・ 下記の対象感染症から月4症例を提出するものとする。
- ・ 特別な事例が発生していると想定される場合においては、佐賀県衛生薬業センター及び佐賀県健康増進課と協議の上、検査の実施について決定する。

## 3 検査材料の採取量、検体採取後の保存及び送付方法等

対象感染症	病原体	検査材料	採取量	容器等	検体採取後の保存・送付方法
咽頭結膜熱	アデノウイルス	咽頭ぬぐい液	綿棒 1～2本	D-MEM (冷蔵)	冷蔵 (4以下)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	咽頭ぬぐい液	綿棒 1～2本	輸送培地 (室温)	
感染性胃腸炎	ノロウイルス等の下痢症ウイルス	便	5～10g (拇指頭大)	採便容器 (室温)	
	感染性胃腸炎の起因菌				
手足口病	エンテロウイルス属のウイルス	咽頭ぬぐい液	綿棒 1～2本	D-MEM (冷蔵)	
		便	5～10g (拇指頭大)	採便容器 (室温)	
ヘルパンギーナ	エンテロウイルス属のウイルス	咽頭ぬぐい液	綿棒 1～2本	D-MEM (冷蔵)	
		便	5～10g (拇指頭大)	採便容器 (室温)	
流行性耳下腺炎	ムンプスウイルス	咽頭ぬぐい液	綿棒 1～2本	D-MEM (冷蔵)	

## 【注意事項】

D-MEM はウイルス用で抗生物質が含まれていますので、細菌用には使用しないでください。

## インフルエンザ病原体定点用

- 1 対象感染症  
インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）
- 2 検査材料数等
  - ・ 県内の患者発生数が1を超えた時点から1を下回るまでの間（流行期）は週1検体を、1を下回る間（非流行期）は月1検体（非流行期の検体については、インフルエンザ様疾患の検体でも可）を提出するものとする。
  - ・ 特別な事例が発生していると想定される場合においては、佐賀県衛生薬業センター及び佐賀県健康増進課と協議の上、検査の実施について決定する。
- 3 検査材料の採取量、検体採取後の保存及び送付方法等

対象感染症	病原体	検査材料	採取量	容器等	検体採取後の 保存・送付方法
インフルエンザ	インフルエンザ ウイルス	鼻咽頭または 咽頭ぬぐい液	綿棒 1～2本	D-MEM (冷蔵)	冷蔵 (4以下)

## 基幹病原体定点用

### 1 対象感染症

- ・ 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を除く）
- ・ 無菌性髄膜炎

### 2 検査材料数等

- ・ 同一疾患については、1週あたり2～3検査材料を限度として採取する。
- ・ 特別な事例が発生していると想定される場合においては、佐賀県衛生薬業センター及び佐賀県健康増進課と協議の上、検査の実施について決定する。

### 3 検査材料の採取量、検体採取後の保存及び送付方法等

対象感染症	病原体	検査材料	採取量	容器等	検体採取後の保存・送付方法
細菌性髄膜炎	細菌性髄膜炎の起因菌（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を除く）	髄液	1～2cc	専用培地（GAM培地）	恒温(37 )
無菌性髄膜炎	エンテロウイルス属のウイルス	髄液	1～2cc	滅菌スリッパ（室温）	冷蔵(4 以下)
		咽頭ぬぐい液	綿棒1本	D-MEM（冷蔵）	
		便	5～10g（拇指頭大）	採便容器（室温）	

# 感染症発生動向調査（病原体検査）への ご協力をお願い

佐賀県では、医療機関の協力を得て、感染症の発生情報の正確な把握と分析を行い、その結果を県民の皆さんや医療機関等の関係機関に提供・公開することにより、感染症の発生の予防及びまん延防止を図ることを目的とした感染症発生動向調査事業（病原体検査）を実施しています。

この事業は、下記の感染症について原因となっている細菌やウイルスを判明させることが重要となります。そのためには、患者さんからの検査材料（咽頭ぬぐい液、便、髄液等）が必要です。

なお、分析結果については、詳しい分析を行い医療機関や提供いただいた皆さんにフィードバックすることとしています。

ぜひ、検査材料の提供にご理解いただき、調査にご協力をお願いします。

## 協力をお願いする内容

検査材料の提供

住所の一部・氏名・年齢・性別・臨床症状等の情報

## 検査について

検査にかかる費用は無料です。

検査結果は受診された医療機関にお知らせします。

（検査期間が1ヶ月以上要する場合があります。）

個人の情報が外部に公表されることは絶対ありません。

## 対象となる感染症

### 【小児科・内科】

インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）

### 【小児科】

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

### 【総合病院等】

細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を除く）、無菌性髄膜炎

佐賀県衛生薬業センター（電話 0952-30-5009）



# 同意書

感染症発生動向調査事業に協力し、検査材料及び氏名や病歴等の情報を提供することについて同意します。

令和 年 月 日

[署名欄]

住 所

患者氏名

(保護者氏名)

患者さんが20歳未満の場合は、保護者の方の署名もお願いします。

佐賀県知事 様

担当医療機関名

(病原体定点用)

病原体検査依頼票(成績表)			
機関名	_____	衛薬受付日	年 月 日
主治医	_____	衛薬受付番号	_____
患者氏名	生年月日	年 月 日	年齢( 歳 ヶ月)性別(男・女)
検査材料	採取日	年 月 日	住所( 市・町 )
	1 便	3 髄液	
	2 鼻咽頭ぬぐい液・咽頭ぬぐい液	4 その他( )	
臨床診断名	1 咽頭結膜熱	6 流行性耳下腺炎	
	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	
	3 感染性胃腸炎(口ウイルス検査 □細菌検査)	8 細菌性髄膜炎	
	4 手足口病	9 無菌性髄膜炎	
	5 ヘルパンギーナ	10 その他( )	
臨床症状・徴候等	(発病日	年 月 日)	
	1 無症状	11 髄膜炎・意識障害・麻痺(部位 )・	
	2 発熱(最高 ℃)	中枢神経系症状(脳炎・脳症・脊髄炎・	
	3 関節痛・筋肉痛	4 口内炎	その他[ ])
	5 上気道炎・下気道炎(肺炎・気管支炎)	12 循環器障害(心筋炎・心膜炎・心不全)	
	6 発疹(水疱・丘疹・紅疹・バラ疹)・出血傾向	13 黄疸	14 肝機能障害
	7 リンパ節腫脹・腫脹(部位 )・	15 腎機能障害(HUS・血尿・乏尿・蛋白尿・多尿・	腎不全)
	浮腫(部位 )	16 尿路生殖器症状	
	8 ショック症状(低血圧・循環不全)	17 その他の症状(上記以外の症状や臨床徴候	[ ])
	9 胃腸炎(下痢・血便・嘔気・嘔吐・腹痛)		
	10 角膜炎・結膜炎・角結膜炎		
基礎疾患			
発生の状況	1 散発	3 家族内発生(有・無)	
	2 流行(保育所・幼稚園・小学校・中学校・	4 その他( )	
	高校・大学・宿舍・地域・その他)		
最近の渡航歴	国名	期間	年 月 日～ 年 月 日
ワクチン接種歴	有・無	最近の接種年月日	年 月 日
	臨床診断に関係のあるワクチン名( )		
その他の連絡事項			
		・インフルエンザの場合:(入院・外来)	
		(検体採取時薬剤投与の有・無)	
		(薬剤名 ) (投与開始日 年 月 日)	
		・( )ウイルス迅速キットの結果(+/-) 型	
		・A群溶レン菌迅速同定キットの結果(+/-)	
		・他検査機関への細菌検査依頼(有・無)	
検査方法		報告日	年 月 日
検査結果			
			佐賀県衛生薬業センター所長

## 医療機関検出情報及び菌株収集実施要領

### 1 目的

佐賀県感染症情報センター機能の一環として、地域の中核医療機関等の臨床検査室（微生物部門）の病原体検出数の情報及び菌株を収集し、血清型別などの検査を行い、これらの情報を県民及び医療機関等に公開、還元することにより、良質かつ適切な医療の提供に寄与し、感染症発生の予防及びまん延の防止を目的とする。

### 2 実施主体

佐賀県衛生薬業センター

### 3 対象医療機関

佐賀大学医学部附属病院検査部  
独立行政法人国立病院機構 佐賀病院研究検査科  
独立行政法人国立病院機構 東佐賀病院研究検査科  
独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター臨床検査科  
地方独立行政法人佐賀県医療センター 好生館検査部  
独立行政法人地域医療機能推進機構 佐賀中部病院検査室  
唐津赤十字病院検査技術課  
伊万里有田共立病院検査室  
唐津東松浦医師会医療センター臨床検査部  
公益財団法人 佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センター

### 4 収集方法

- ① 病原体検出情報の提供:対象医療機関は毎月13日までに別紙様式1、2について衛生薬業センター宛FAX、または e-mail にて提供する。  
記入の詳細については病原体検出状況報告書の主項目の記入マニュアルを参照。
- ② 菌株収集:病原体(菌株)収集マニュアルによる。

### 5 情報還元

衛生薬業センターは、毎月集計した情報及び菌株検査結果を速やかに対象医療機関及び県民(ホームページ)に還元する。

病原体検出状況報告書

佐賀県衛生産業センター  
E-mail:med@kansens.pref.saga.jp

報告機関名  
報告内容 年 月 分

分離材料：糞便		分離材料：糞便(つぎ)		分離材料：血液		分離材料：唾液		分離材料：膿液		分離材料：血液	
病原菌名	検出数	病原菌名	検出数	病原菌名	検出数	病原菌名	検出数	病原菌名	検出数	病原菌名	検出数
305	<i>Escherichia coli</i> : 腸管出血性 EHEC/VTEC	101	<i>Plesiomonas shigelloides</i>	001	<i>Escherichia coli</i>	001	<i>Escherichia coli</i>	029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)
093	<i>Escherichia coli</i> : 毒素原性 ETEC	208	<i>Campylobacter jejuni</i>	118	<i>Haemophilus influenzae</i>	030	<i>Bordetella pertussis</i>	032	<i>Streptococcus B</i>	032	<i>Streptococcus B</i>
092	<i>Escherichia coli</i> : 組織侵入性 EIEC	209	<i>Campylobacter coli</i>	030	<i>Neisseria meningitidis</i>	118	<i>Haemophilus influenzae</i>	032	<i>Streptococcus B</i>	031	<i>Streptococcus A</i>
094	<i>Escherichia coli</i> : 病原大腸菌血清型 EPEC	023	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> : 種別せず	106	<i>Listeria monocytogenes</i>	030	<i>Neisseria meningitidis</i>	031	<i>Streptococcus B</i>	038	<i>PRSP/PISP</i>
095	<i>Escherichia coli</i> : 他の下痢原性	241	MRSA	241	MRSA	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	038	<i>PRSP/PISP</i>
003	<i>Salmonella typhi</i>	003	<i>Salmonella paratyphi A</i>	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	032	<i>Streptococcus B</i>	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	038	<i>PRSP/PISP</i>
004	<i>Salmonella typhi</i>	005	<i>Salmonella O2</i>	026	<i>Clostridium botulinum E</i>	102	PRSP/PISP	038	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (PRSP/PISP以外)	024	MRSA
006	<i>Salmonella O4</i>	007	<i>Salmonella O7</i>	027	<i>Clostridium botulinum E</i> 以外	038	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (PRSP/PISP以外)	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	024	MRSA
008	<i>Salmonella O8</i>	008	<i>Salmonella O8</i>	028	<i>Bacillus cereus</i>	038	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (PRSP/PISP以外)	421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	032	<i>Streptococcus B</i>
009	<i>Salmonella O9</i>	009	<i>Salmonella O9</i>		<i>Shigella dysenteriae</i> : 型( )			032	<i>Streptococcus B</i>	032	<i>Streptococcus B</i>
010	<i>Salmonella O9:46</i>	010	<i>Salmonella O9:46</i>		<i>Shigella flexneri</i> : 型( )			038	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (PRSP/PISP以外)	422	<i>Anaerobes</i>
201	<i>Salmonella O1:3,19</i>	009	<i>Shigella boydii</i>		<i>Shigella boydii</i>			422	<i>Anaerobes</i>	116	<i>Vibrio vulnificus</i>
014	<i>Salmonella O13</i>	080	<i>Shigella sonnei</i>		<i>Shigella sonnei</i>			038	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (PRSP/PISP以外)	042	<i>Plasmodium spp.</i>
015	<i>Salmonella O18</i>	091	<i>Shigella</i> 群不明		<i>Shigella</i> 群不明			504	<i>Influenza virus A</i>	116	<i>Vibrio vulnificus</i>
016	<i>Salmonella O18</i>	041	<i>Entamoeba histolytica</i>		<i>Entamoeba histolytica</i>			505	<i>Influenza virus B</i>	合計	合計
017	<i>Salmonella</i> 群不明	042	<i>Cryptosporidium spp.</i>		<i>Cryptosporidium spp.</i>			506	<i>RS virus</i>		
503	<i>Listeria monocytogenes</i>	043	<i>Giardia lamblia</i>		<i>Giardia lamblia</i>			合計	合計		
018	<i>Yersinia enterocolitica</i>	501	ROTA virus		ROTA virus						
019	<i>Yersinia enterocolitica</i>	502	ADENO virus		ADENO virus						
405	<i>V.cholerae</i> O1:EI Tor,Ogawa,CT(+)										
406	<i>V.cholerae</i> O1:EI Tor,Ogawa,CT(-)										
407	<i>V.cholerae</i> O1:EI Tor,Inaba,CT(+)										
408	<i>V.cholerae</i> O1:EI Tor,Inaba,CT(-)										
409	<i>V.cholerae</i> O1:Classical,Ogawa,CT(+)										
410	<i>V.cholerae</i> O1:Classical,Ogawa,CT(-)										
411	<i>V.cholerae</i> O1:Classical,Inaba,CT(+)										
412	<i>V.cholerae</i> O1:Classical,Inaba,CT(-)										
413	<i>V.cholerae</i> O1:39,CT(+)										
414	<i>V.cholerae</i> O1:39,CT(-)										
415	<i>V.cholerae</i> O1 & O1:39以外										
022	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	001	<i>Escherichia coli</i>	119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	029	<i>Neisseria gonorrhoeae</i>	031	<i>Streptococcus A</i>	038	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (PRSP/PISP以外)
104	<i>Vibrio fluvialis</i>	119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	118	<i>Haemophilus influenzae</i>	163	<i>Mycobacterium spp.</i>	124	<i>Ureaplasma</i>	422	<i>Anaerobes</i>
115	<i>Vibrio minificus</i>	030	<i>Neisseria meningitidis</i>	030	<i>Neisseria meningitidis</i>	163	<i>Mycobacterium spp.</i>	124	<i>Ureaplasma</i>	125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
116	<i>Vibrio vulnificus</i>	163	<i>Mycobacterium spp.</i>	241	MRSA	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	038	<i>PRSP/PISP</i>	合計	合計
206	<i>Aeromonas hydrophila</i>	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	421	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	024	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA以外)	038	<i>PRSP/PISP</i>		
207	<i>Aeromonas sobria</i>	381	PRSP/PISP	038	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (PRSP/PISP以外)	038	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (PRSP/PISP以外)	422	<i>Anaerobes</i>		
111	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず	115	<i>Vibrio minificus</i>	162	<i>Trichomonas vaginalis</i>	162	<i>Trichomonas vaginalis</i>	合計	合計		
		116	<i>Vibrio vulnificus</i>	合計	合計	合計	合計				
		116	<i>Vibrio vulnificus</i>	合計	合計	合計	合計				
		合計	合計	合計	合計	合計	合計				

穿刺液: 胸水、膿水、関節液など

唾液: 唾液、気管吸引液および下気道からの材料

生殖器: 尿道尿道管標本(分泌)物

MRSA: methicillin-resistant-*S.aureus*

PRSP: penicillin-resistant-*S.pneumoniae*

PISP: penicillin-intermediate-*S.pneumoniae*

重要と思われる症例、またはまれな症例等に関する情報

No	検体採取月日	検体の種類	検出病原菌種・菌型	年齢・月例	性別	臨床診断名・症状	基礎疾患等
備考							

## 病原体検出状況報告書の主項目の記入マニュアル

### 〔表〕面

1 〔表〕面ではヒト由来の病原菌について疾病の病因と考えられた場合の検出数（保菌者を含む）を報告する。

常在菌と考えられた場合、および検体の材料が不明の場合は報告しない。

〔表〕面に記載されていない材料、または菌の検出は〔表〕面には記載しない。

なお、特記すべき検出例については、具体的に〔裏〕面に記載する。

- ・ 検体材料別に各病原菌の分離数を記入する。
- ・ 同一検体から複数菌種、あるいは一菌種でも菌型を異にする菌が同時に検出された場合は、それぞれを1件として別の欄に集計する。
- ・ 同一人の同種の検体材料から同一菌種（型）が繰り返し検出されたことが明らか場合は、初回の検出のみ報告する。
- ・ 同一人の異種の検体材料から同一菌種（型）が検出された場合は、それぞれ1件として検体材料別に集計する。

### 2 糞便から検出された病原菌

#### ・ *Salmonella*

*S.typhi*, *S.paratyphi*A についてはそれぞれの欄に記載し、それら以外のサルモネラをO群ごとに集計・記入する。

各サルモネラ O群のうち、O2・O4・O7・O8・O9・O9,46・O3,10・O1,3,19・O13・O18以外のものは *Salmonella* その他の群として扱う。

群別をしなかった場合、および群別できなかった場合は *Salmonella* 群不明欄に記入する。

#### ・ *Vibrio cholerae*

コレラ菌（*V.cholerae*. O1及びO139）とビブリオ.コレラ非 O1 & O139（*V.cholerae*. O1 & O139 以外）に分けて集計・記入する。さらに、コレラ菌の検出報告は生物型、血清型、毒素産生性によって以下のように分類して該当する欄に検出数を記入する。コード 405～415

#### ・ *Clostridium* は次のものを記入する。

コード 025 は *Clostridium perfringens* の検出数を記入する。

コ - ド 026 は *Clostridium botulinum* のうち E 型の検出数を記入する。

コ - ド 027 は *Clostridium botulinum* のうち E 型以外の検出数を記入する。

・ *Escherichia coli*

対象は急性胃腸炎の原因菌と考えられるものに限り、病原性について次のように分類した株数を記入する。

コ - ド 305 *E.coli* 腸管出血性：ベロ毒素（志賀毒素）の産生性が確認された株数。  
コ - ド 305 はコ - ド 092,093,094 とは重複しない。

コ - ド 092 *E.coli* 組織侵入性：血清型 O28a,c、O29、O112a,c、O124、O136、O143、O144、O152、O159、O164 の株数

コ - ド 093 *E.coli* 毒素原性：毒素原性（LT、ST あるいはその両方）の産生性が確認された株数。コ - ド 093 はコ - ド 092 とは重複しない。

コ - ド 094 *E.coli* 病原大腸菌血清型：上記組織侵入性の血清型をのぞくいわゆる病原大腸菌血清型、すなわち、O18、O20、O26、O44、O55、O86、O111、O114、O119、O125、O126、O127a、O128a,b、O142、O146、O158 の株数。ただし、毒素原性の産生性が確認されたものはコ - ド 093 へ、ベロ毒素（志賀毒素）の産生性が確認されたものはコ - ド 305 へ分類する。

コ - ド 095 *E.coli* その他・不明；上記コ - ド 305、092、093、094 に該当しないが、急性胃腸炎の原因と考えられた大腸菌の株数。

以下のものが含まれる。

- ・毒素原性を調べていないもの。
- ・これまで病原性として報告されていて、コ - ド 305、092、094 に属さない血清型のもの（例えば、O6、O27 など）。
- ・血清型不明だが生化学的性状が同じものが多数の患者より採れた場合など、原因菌と考えられるもの。

・ *Shigella*

各菌種（亜群）、各菌型ごとの検出数を記入する。該当する菌種の（ ）欄に検出された菌型を記入する。

群別はできたが型不明の場合は該当する菌種の（ ）欄に型不明と記入する。

群別が不能であった場合は *Shigella* 群不明欄に検出数を記入する。

*Shigella* の菌型

*S.dysenteriae* 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12

*S.flexneri* 1a、1b、1、2a、2b、3a、3b、4a、4b、4、5a、5b、6、var.X、var.Y

*S.boydii* 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、  
16、17、18

・ ROTA virus、ADENO virus

各施設で簡易検出キット（ロタレックス、アデノレックス等）で陽性を示した検体数を記入する。

- ・ 合計欄に糞便からの検出数の合計を記入する。
- ・ 特記すべき重要な症例は〔裏〕面に記載すること。

### 3 穿刺液（胸水、腹水、関節液など）から検出された病原菌

*E.coli*, *K.pneumoniae*, *H.influenzae*, *N.meningitidis*, *P.aeruginosa*,  
*Mycobacterium* spp.、MRSA;methicillin-resistant-*S.aureus*、MRSA 以外、  
*Staphylococcus* コアグラ - ゼ陰性、PRSP;penicillin-resistant-*S.pneumoniae*  
PISP;penicillin-intermediate-*S.pneumoniae*, Anaerobes, *M.pneumoniae*,  
*Vibrio vulnificus* についてそれぞれの欄に検出数を記入する。  
*Mycobacterium* spp.の欄には *Mycobacterium* の検出数をまとめて記入する。  
合計欄に穿刺液からの検出数の合計を記入する。  
特記すべき重要な症例は〔裏〕面に記載すること。

### 4 髄液から検出された病原菌

*E.coli*, *H.influenzae*, *N.meningitides*, *L.monocytogenes*,  
MRSA;methicillin-resistant-*S.aureus*、MRSA 以外、  
PRSP;penicillin-resistant-*S.pneumoniae*,  
PISP;penicillin-intermediate-*S.pneumoniae*,*Streptococcus* B についてそれぞれの欄  
に検出数を記入する。合計欄に髄液からの検出数の合計を記入する。特記すべき重要な症  
例は〔裏〕面に記載すること。

### 5 血液から検出された病原菌

*E.coli*, *S.typhi*, *S.paratyphi* A, *Salmonella* spp., *H.influenzae*, *N.meningitidis*,  
*P.aeruginosa*, *S.aureus*、MRSA;methicillin-resistant-*S.aureus*、MRSA 以外、  
*Stapylococcus* コアグラ - ゼ陰性、PRSP;penicillin-resistant-*S.pneumoniae*,  
PISP;penicillin-intermediate-*S.pneumoniae*, Anaerobes, *Plasmodium* spp.、*Vibrio*  
*vulnificus* についてそれぞれの欄に検出数を記入する。  
*Salmonella* spp.の欄には *S.typhi*, *S.paratyphi* A 以外の *Salmonella* の検出数をまと  
めて記入する。  
合計欄に血液からの検出数の合計を記入する。  
特記すべき重要な症例は〔裏〕面に記載すること。

### 6 咽頭および鼻咽喉からの材料から検出された病原菌

*B.pertussis*, *H.influenzae*, *N.meningitidis*, *Streptococcus* A,  
PRSP;penicillin-resistant-*S.pneumoniae*,  
PISP;penicillin-intermediate-*S.pneumoniae*, *C.diphtheriae* についてそれぞれの欄に  
検出数を記入する。  
インフルエンザに関しては、簡易検出キット（ディレクティジェン FluA 等）で検出さ



れた検出数を記入。

RSV に関しては、簡易検出キット(RSV テストパック等)で検出された検出数を記入。

合計欄に咽頭および鼻咽喉からの材料からの検出数の合計を記入する。

特記すべき重要な症例は〔裏〕面に記載すること。

#### 7 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料から検出された病原菌

*M.tuberculosis*、*K.pneumoniae*、*H.influenzae*、*L.pneumophila*、*P.aeruginosa*、*MRSA*;methicillin-resistant-*S.aureus*、*MRSA* 以外、*Stapylococcus*、*Streptococcus A*、*Streptococcus B*、PRSP;penicillin-resistant-*S.pneumoniae*、PISP;penicillin-intermediate-*S.pneumoniae*、Anaerobes、*M.pneumoniae* についてそれぞれの欄に検出数を記入する。

合計欄に喀痰および気管吸引液からの材料からの検出数の合計を記入する。

特記すべき重要な症例は〔裏〕面に記載すること。

#### 8 陰部尿道頸管擦過（分泌）物から検出された病原体

*N.gonorrhoeae*、*Streptococcus B*、*Chlamydia trachomatis*、*Ureaplasma*、*Candida albicans*、*T.vaginalis* についてそれぞれの欄に検出数を記入する。

合計欄に陰部尿道頸管擦過（分泌）物からの検出数の合計を記入する。

特記すべき重要な症例は〔裏〕面に記載すること。

#### 〔裏〕面

- 1 〔裏〕面では、注目される例、あるいは注釈が必要な例について記載する。たとえば、細菌性髄膜炎、新生児の肺炎・結膜炎、特記すべき日和見感染による死亡例、特殊な菌の検出例などを記入する。
- 2 検体採取年月日、検体の種類、検出病原菌種・菌型、年齢・月齢、性別、臨床症状について項目別に記入し、その他の情報は備考欄に記入する。

## 病原体（菌株）収集マニュアル

- 1 分離した指定菌株を輸送容器に多めに接種する。
- 2 専用菌株（培地）輸送容器に入れ、別添菌株送付票と一緒に、低温にて送付担当者に提供する。
- 3 下記の3菌種について収集する。

A群溶血性レンサ球菌（*Streptococcus pyogenes*）

A群が確定された菌株。

《収集目的》

- ・ 詳細な血清型別検査（T血清型）を行い、平常時の菌型を把握することにより、流行の未然防止に寄与する。
- ・ 劇症型A群溶血性レンサ球菌感染症の発症機序の解明、流行の未然探知に寄与する。
- ・ A群溶血性レンサ球菌レファレンス事業への菌株の提供。

サルモネラ属菌

サルモネラが生化学的性状等で同定され、O群血清型が確定された菌株。

《収集目的》

- ・ 詳細な血清型別を行い、平常時の菌型を把握することにより、流行の未然防止に寄与する。
- ・ diffuse outbreak（拡散した集団発生）を早期に探知する。
- ・ 中央感染症情報センター（国立感染症研究所内）へ情報を提供する。

下痢原性大腸菌

大腸菌が生化学的性状等で同定され、単独血清型が確定された菌株。

O1血清型については、収集を行わない。

《収集目的》

- ・ 詳細な血清型別を行い、平常時の菌型を把握することにより、流行の未然防止に寄与する。
- ・ 一般検査室では実施困難な病原性の確認。
- ・ 未知の病原因子についての調査。

□下痢原性大腸菌(血清型○ 型) □サルモネラ属菌用(血清型○ 型) いずれかにチェックしてください。

病原体(菌株)検査  
患者調査票および検査結果報告書

医療機関名		衛薬No	
主治医		受付	年 月 日

検査材料	採取日	年 月 日			
	便の採取方法	1 自然排便	2 直接採便(綿棒で採便)	3 その他 ( )	
患者	イニシャル又は検体番号			歳	
	性別	男・女	住所	( )市・町	
臨床事項	発症日	年 月 日	初診日	月 日	
	疫学事項	散発・流行(家庭内 : 兄弟姉妹父母他 )			
		(幼稚園・保育所・学校・宿舎・地域・他 )			
	臨床診断名(疑い)				
	症状	下痢	: 無・有 回/日 (便性状:水様・粘液・軟性・血液混入・血性)		
		発熱(初診時)	: (最高 日目)		
嘔吐		: 回/日(延べ 回)			
腹痛		: 有・無			
その他:					
材料採取前の 抗生剤使用状況	有・無・不明(投与中 日間・中断 日間) 系( )				
特記事項	ペット・家畜の 飼育/接触	無・有 (犬・猫・小鳥・カメ・ニワトリ・豚・牛・馬 その他: )			
	下痢の原因と考 えられた食品 (疑い)	(アレルギーの場合 鶏卵・卵製品の摂食 有・無)			
	その他	海外旅行 無・有(国名: )			

太枠内に記入してください。

佐賀県衛生薬業センター 細菌課

TEL 0952-30-5009

FAX 0952-30-5033

《検査結果》

菌名	・下痢原性大腸菌	病原因子				
	○抗原 H抗原	腸管出血性	腸管毒素原性	腸管侵入性	腸管病原性	腸管凝集付着性
菌名	・サルモネラ属菌	血清型名				
	○抗原 H抗原 相 相					

佐賀県衛生薬業センター所長

A群溶血性レンサ球菌用

病原体（菌株）検査

患者調査票および検査結果報告書

医療機関名			衛薬No	_____
主治医		科	受付	____年 月 日

検査材料	採取日	____年 月 日		
	咽頭粘液 ・ 膿（ _____ 部位） ・ 膿分泌物 ・ 尿 ・ 便 ・ 随液 血液 ・ 外耳ふきとり ・ 他（ _____ ）			
患者	イニシャル又は 検体番号			歳
	性別	男 ・ 女	住所	（ _____ ）市・町
臨床事項	発症日	____年 月 日	初診日	____年 月 日
	疫学事項	散発・流行（家庭内：兄弟姉妹父母他_____）		
		（幼稚園・保育所・学校・宿舎・地域・他_____）		
	発熱	有・無	初診時	最高 _____ 日間
	臨床診断名 （疑い）	咽頭炎・扁桃炎・気管支炎・肺炎・猩紅熱様疾患・蜂窩織炎・膿痂疹 せつ・癰・ひょうそ・丹毒・中耳炎・敗血症・骨髄炎・髄膜炎・腹膜炎 亜急性心内膜炎・膿炎・産褥熱・急性腎炎・リウマチ熱・その他（ _____ ）		
	症状 および 特記			
材料採取前の 抗生剤使用状況	有 ・ 無 ・ 不明（投与中 _____ 日間 ・ 中断 _____ 日間） 系（ _____ ）			

太枠内に記入してください。

佐賀県衛生薬業センター 細菌課

TEL 0952-30-5009

FAX 0952-30-5033

《検査結果》

検査結果	群 別	群	型 別	型
------	-----	---	-----	---

佐賀県衛生薬業センター 所長

# 平成 31 年 佐賀県の感染症

令和 2 年 4 月 発行

発行 佐賀県衛生薬業センター

〒849-0925

佐賀市八丁畷町1番 20 号

TEL 0952 (30) 5009

FAX 0952 (30) 5033

Email [eiseiyakugyou@pref.saga.lg.jp](mailto:eiseiyakugyou@pref.saga.lg.jp)

URL <http://www.kansen.pref.saga.jp>